

リスム フリーアドレス用テーブル 組立説明書 RFFLT-2412 (AD) WH (NA, DM) -T, RFFLT-2412 (AD) WH (BK) -L (F, ML)

■組立説明書は2種類ございます。下記をご参照頂き、適合する商品の組立説明書をご覧ください。

W2400 以上 3 ページへお進みください

梱包 1 ~ 7 を使用します

追加増連

13 ページへお進みください

梱包 4 ~ 7 を使用します

部材 お買い上げありがとうございます。部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

梱包 1 RFFLT-2412WH (NA, DM) -T	梱包 2 RFFLT-2412WH (BK) -L				
Ⓐ左右天板 ×1	Ⓑ左右脚部 ×2	Ⓒ左右フレーム ×2	Ⓓ連結金具 ×4	Ⓔジョイントシャフト ×2+予備	
	Ⓕ六角穴付き J ねじ大 ×24+予備 (M6 × 60)	Ⓖ六角穴付き J ねじ中 ×8+予備 (M6 × 35)	Ⓗ六角穴付き J ねじ小 ×24+予備 (M6 × 12)	①連結ボルト・ナット・ワッシャー・スプリングワッシャー ×4 組 (M6 × 30)	②六角レンチ ×2
				Ⓚ木ダボ ×3	

梱包 3 RFFLT-2412WH (BK) -ML	梱包 4 NC-1517-B
Ⓛ中間フレーム ×1	Ⓝコンセント ×1
Ⓜ中間脚 ×2	Ⓞクリップ ×2
	Ⓟ十字穴付 皿タッピンねじ ×2 (3 × 16)

梱包 5 RFFLT-ADWH (NA, DM) -T	梱包 6 RFFLT-ADWH (BK) -F				
Ⓢ中間天板 ×1	Ⓛ中間フレーム ×1	Ⓡ連結フレーム ×2	Ⓓ連結金具 ×2	Ⓔジョイントシャフト ×2+予備	Ⓕ六角穴付き J ねじ大 ×12+予備 (M6 × 60)
					Ⓖ六角穴付き J ねじ小 ×16+予備 (M6 × 12)
	Ⓚ木ダボ ×3	梱包 7 RFFLT-ADWH (BK) -ML			
		Ⓜ中間脚 ×2	Ⓗ六角穴付き J ねじ小 ×8+予備 (M6 × 12)	①連結ボルト・ナット・ワッシャー・スプリングワッシャー ×4 組 (M6 × 30)	②六角レンチ ×2

重要 ジョイントシャフトとカムロックの正しい締結方法

本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

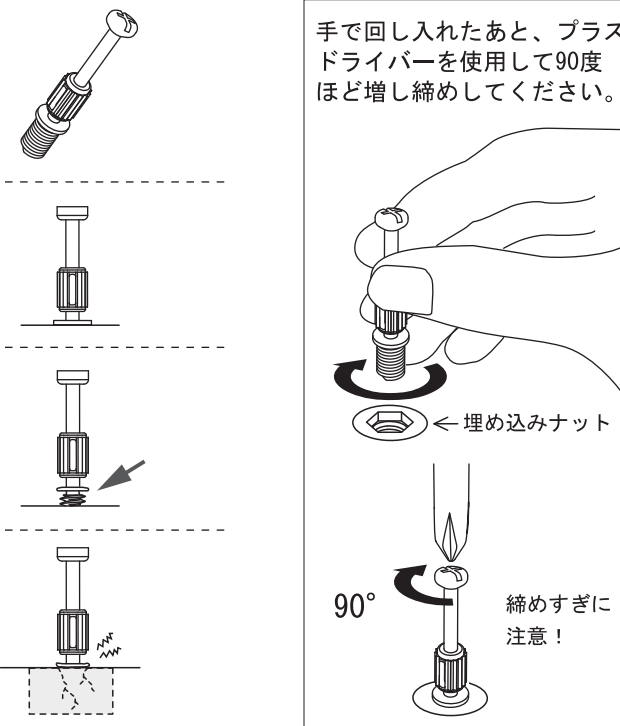
1. ジョイントシャフトの取り付け

ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。

○ **適切な取り付け**
ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。

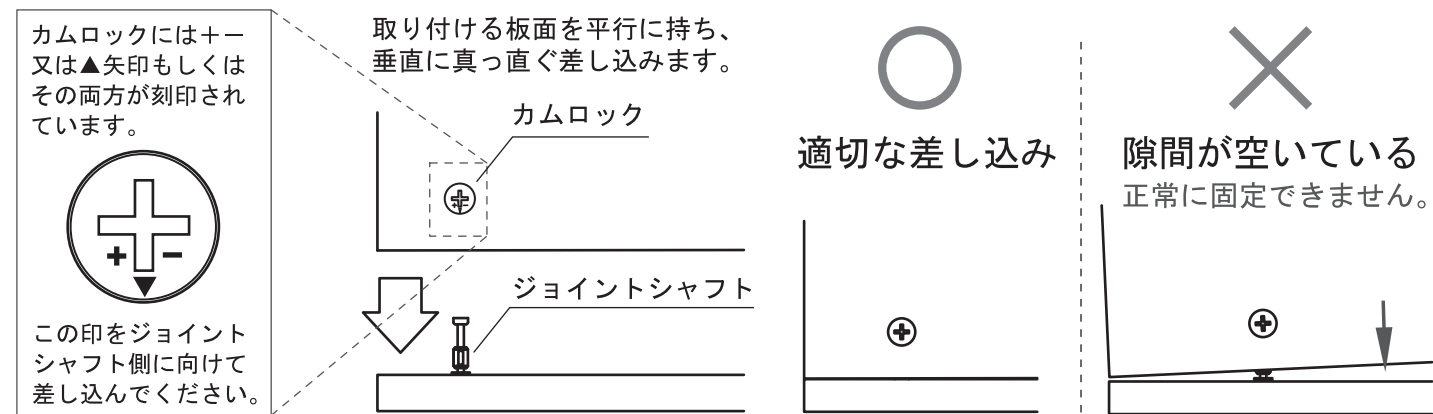
✕ **最後まで締まっていない**
抜けや歪みの原因となります。

✕ **締めすぎ**
ジョイントシャフトや埋め込みナットが破損する恐れがあります。



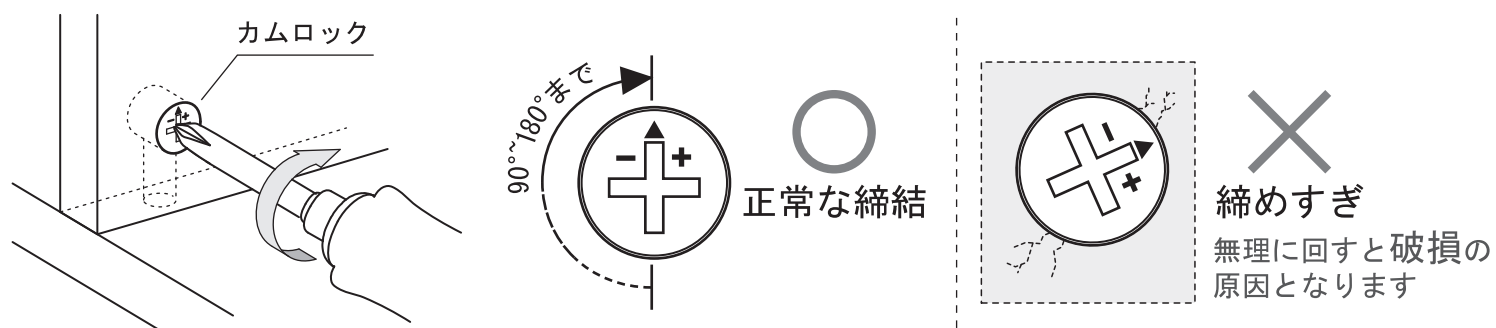
2. ジョイントシャフトの挿入

板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。



3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90°~180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。



W2400mm ～ W10800mm タイプの組み立て方法



組立前の注意

設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり2人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

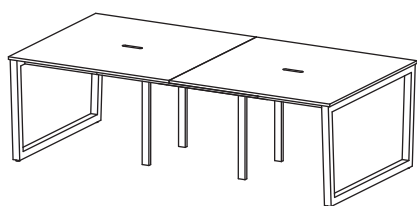
- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

完成参考図

組み立てるサイズにより組み立て方法が異なります。
下記を完成参考図を十分にご確認いただき組み立てを行ってください。

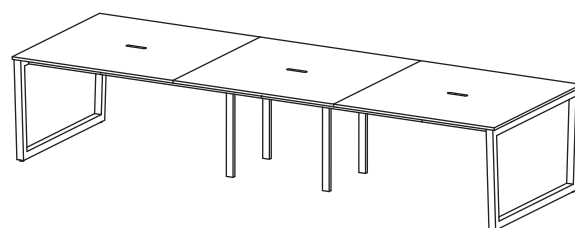
W2400 タイプ

梱包 1×2 箱、梱包 2×1 箱、梱包 3×1 箱、
梱包 4×2 個を使用します。



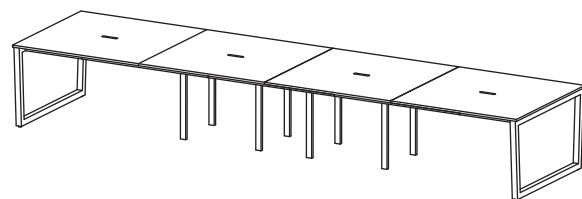
W3600 タイプ

梱包 1×2 箱、梱包 2×1 箱、梱包 3×1 箱、
梱包 4×3 個、梱包 5×1 箱、梱包 6×1 箱
を使用します。



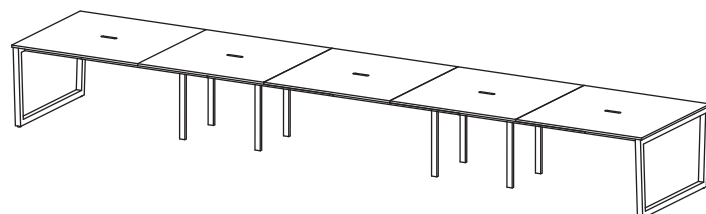
W4800 タイプ

梱包 1×2 箱、梱包 2×1 箱、梱包 3×1 箱、
梱包 4×4 個、梱包 5×2 箱、梱包 6×2 箱、梱包 7×1 箱
を使用します。



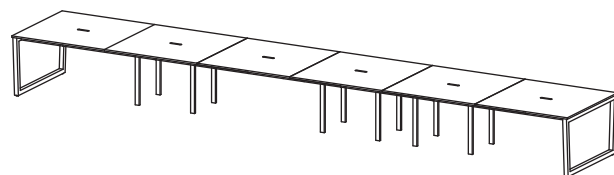
W6000 タイプ

梱包 1×2 箱、梱包 2×1 箱、梱包 3×1 箱、
梱包 4×5 個、梱包 5×3 箱、梱包 6×3 箱、梱包 7×1 箱
を使用します。



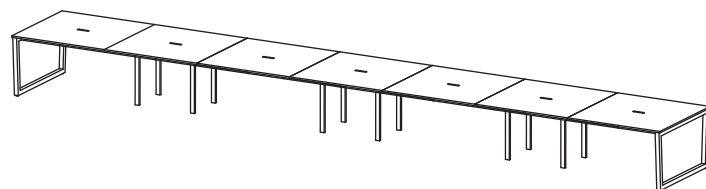
W7200 タイプ

梱包 1×2 箱、梱包 2×1 箱、梱包 3×1 箱、
梱包 4×6 個、梱包 5×4 箱、梱包 6×4 箱、梱包 7×2 箱
を使用します。



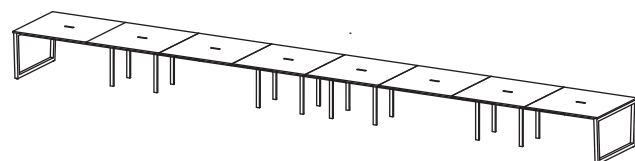
W8400 タイプ

梱包 1×2 箱、梱包 2×1 箱、梱包 3×1 箱、
梱包 4×7 個、梱包 5×5 箱、梱包 6×5 箱、梱包 7×2 箱
を使用します。



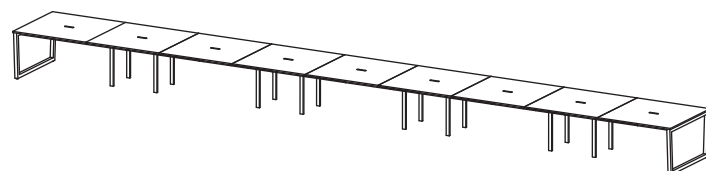
W9600 タイプ

梱包 1×2 箱、梱包 2×1 箱、梱包 3×1 箱、
梱包 4×8 個、梱包 5×6 箱、梱包 6×6 箱、梱包 7×3 箱
を使用します。



W10800 タイプ

梱包 1×2 箱、梱包 2×1 箱、梱包 3×1 箱、
梱包 4×9 個、梱包 5×7 箱、梱包 6×7 箱、梱包 7×3 箱
を使用します。



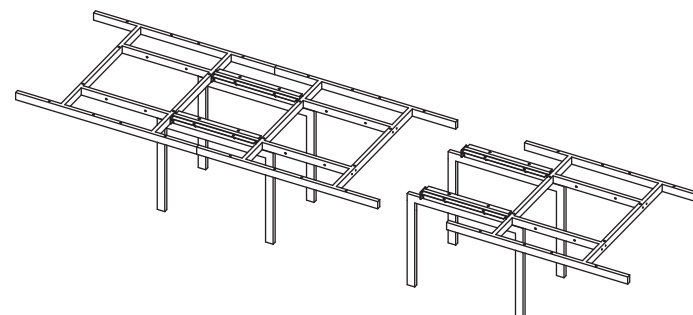
中間脚部組立参考図

W4800 ～ W10800 共通

下図の各サイズ中間脚部組立参考図をご確認ください。
W2400, W3600 タイプは中間脚部同士の組み合わせはありません。

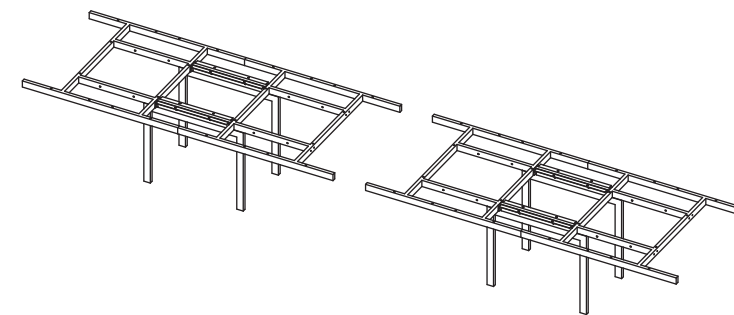
W4800 タイプ

6 + 6 (W4800 用)



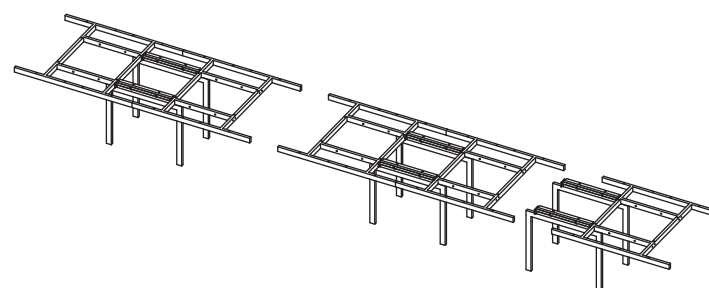
W6000 タイプ

6 + 6
Ⓡ 連結フレーム + 2 個



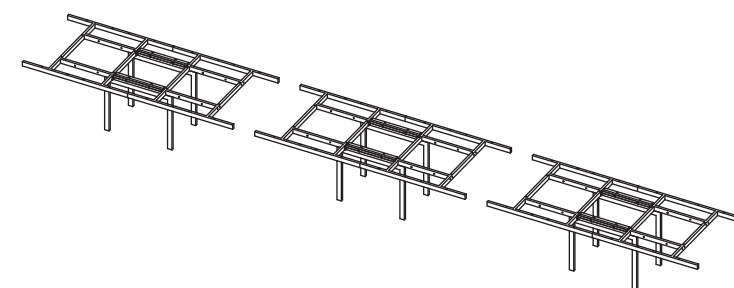
W7200 タイプ

6 + 3 + 6



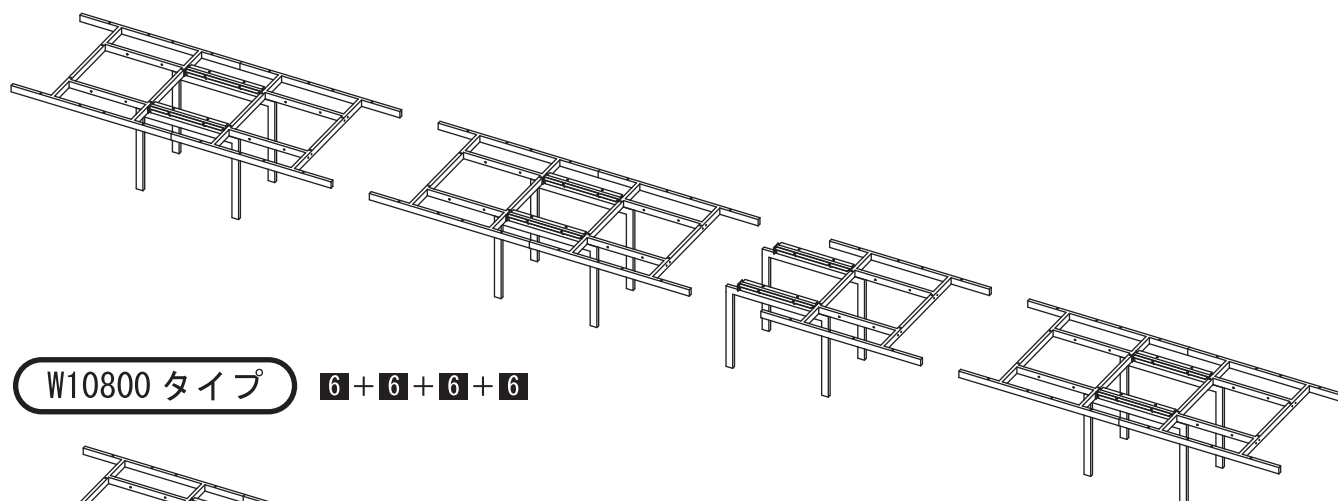
W8400 タイプ

6 + 6 + 6



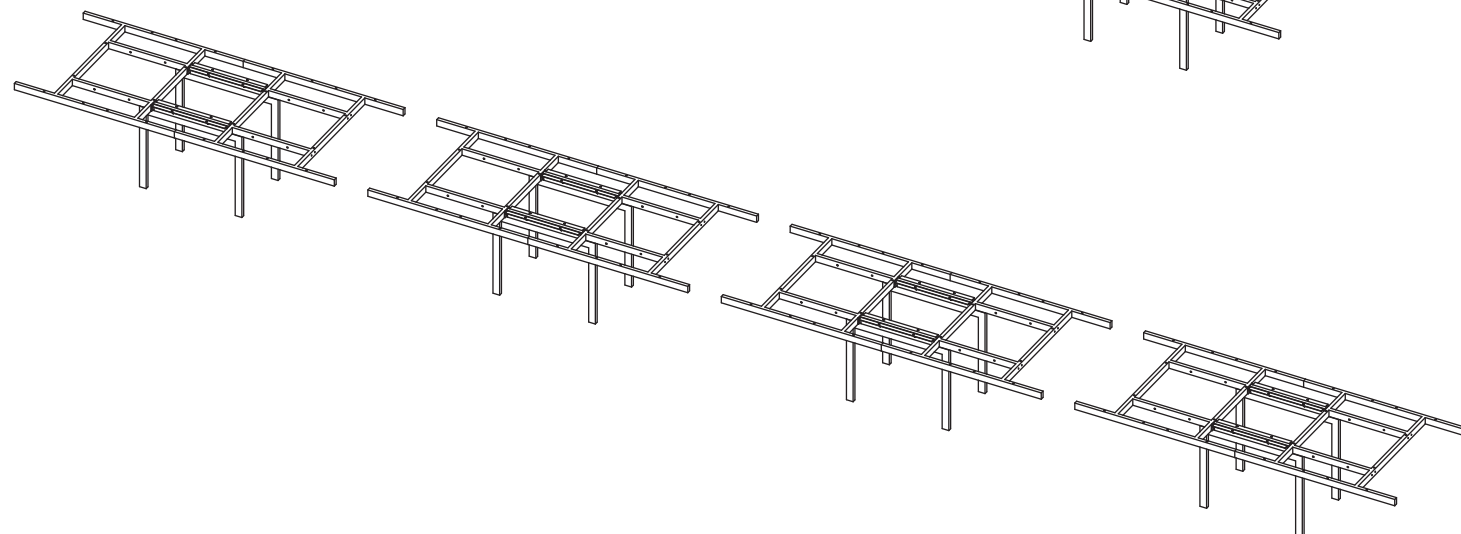
W9600 タイプ

6 + 3 + ① 中間フレーム + 3 + 6



W10800 タイプ

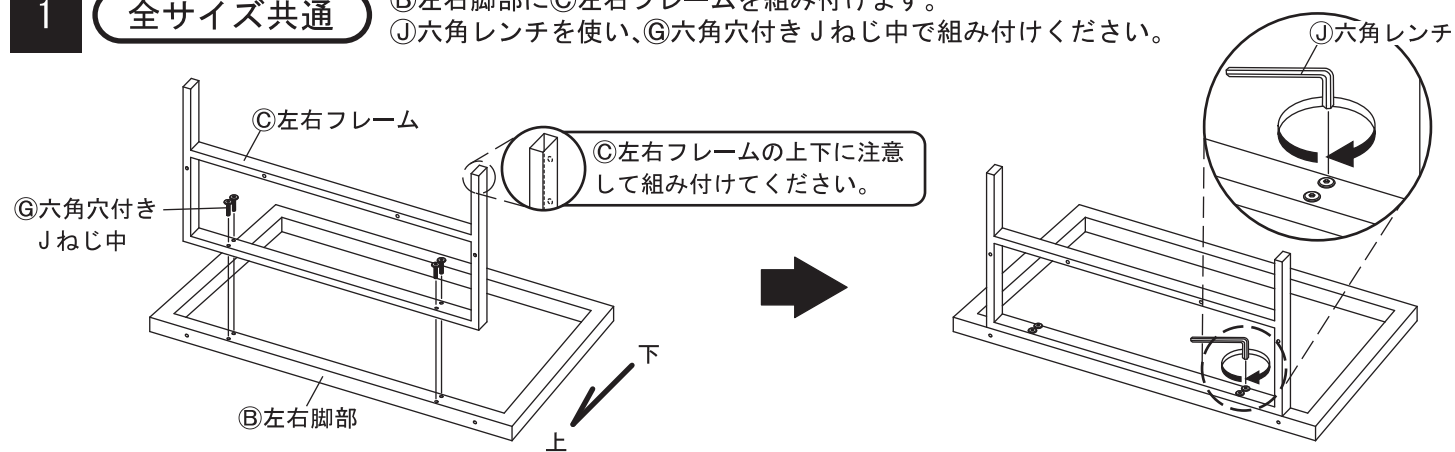
6 + 6 + 6 + 6



1

全サイズ共通

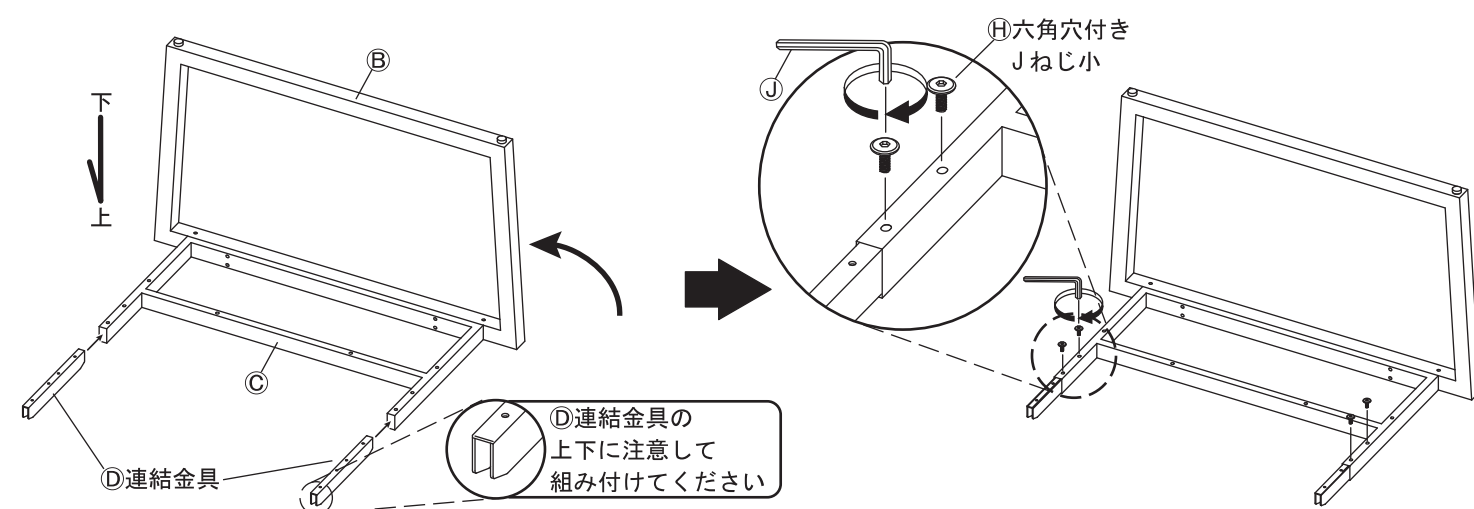
③左右脚部に④左右フレームを組み付けます。
①六角レンチを使い、⑥六角穴付きJねじ中で組み付けてください。



2

全サイズ共通

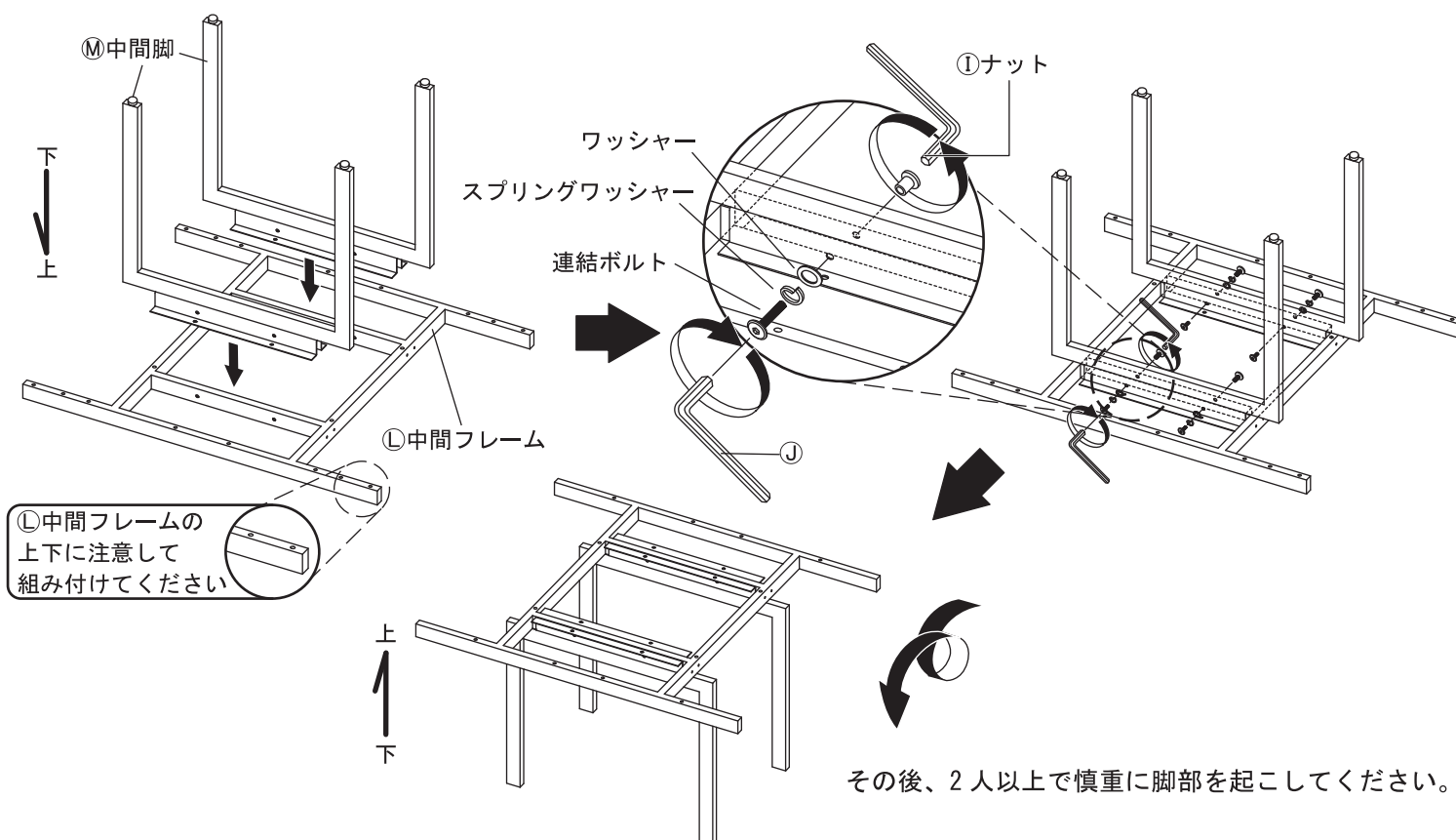
①で組み付けた脚部を起し、④左右フレームの図の位置に⑦連結金具を差し込みます。
①六角レンチを使い、⑨六角穴付きJねじ小で組み付けてください。



3

W2400 タイプ

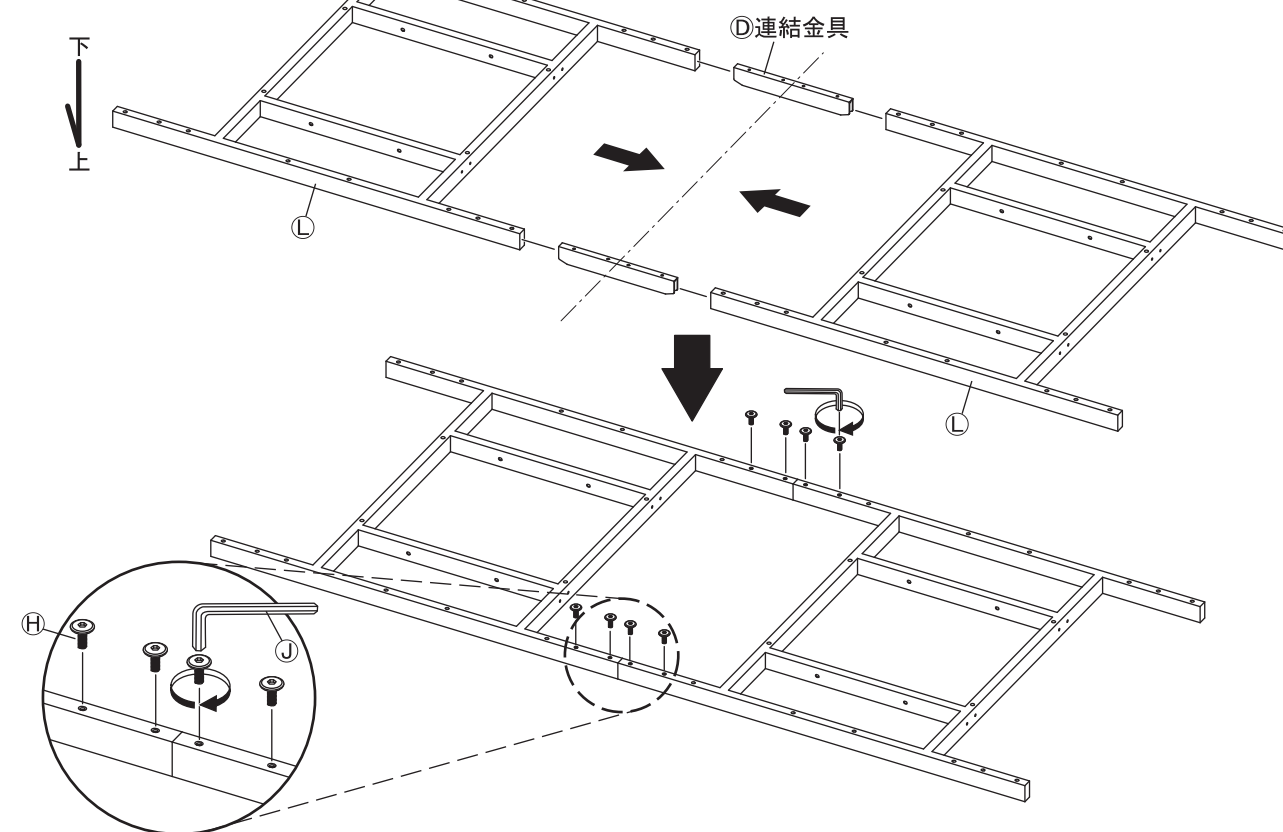
①中間フレームに②中間脚を差し込みます。①六角レンチを使い、①連結ボルト・ナット・ワッシャー・スプリングワッシャーでしっかりと締め付けてください。
W2400×1セット組み立ててください。



4

W3600 ~ W10800 共通

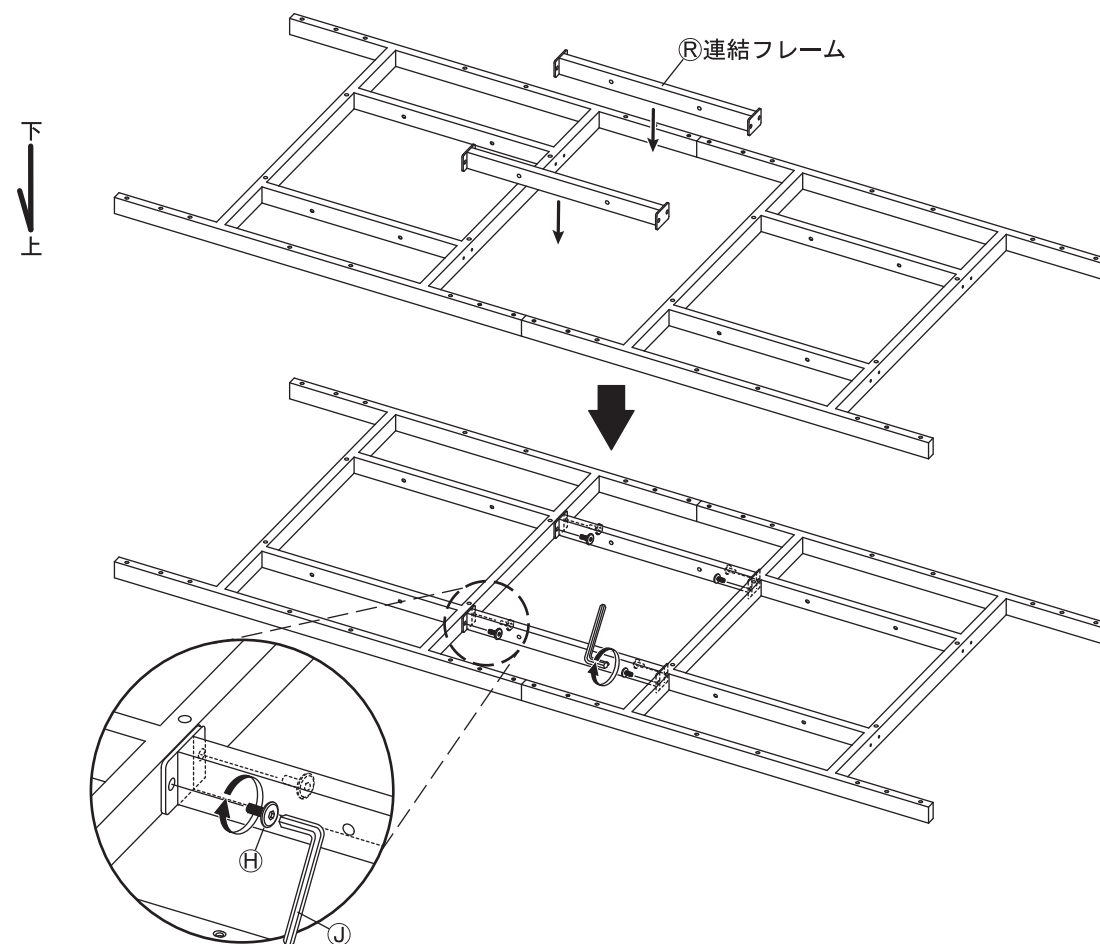
①中間フレームを図のように並べ、間に⑦連結金具を差し込みます。
①六角レンチを使い、⑨六角穴付きJねじ小で組み付けてください。
④ ~ ⑥の中間脚部の組立工程で、W3600×1セット、W4800(7ページ⑥参照)、
W6000×2セット、W7200(7ページ⑥参照)、W8400×3セット、W9600(7ページ⑥参照)、
W10800×4セットを組み立ててください。



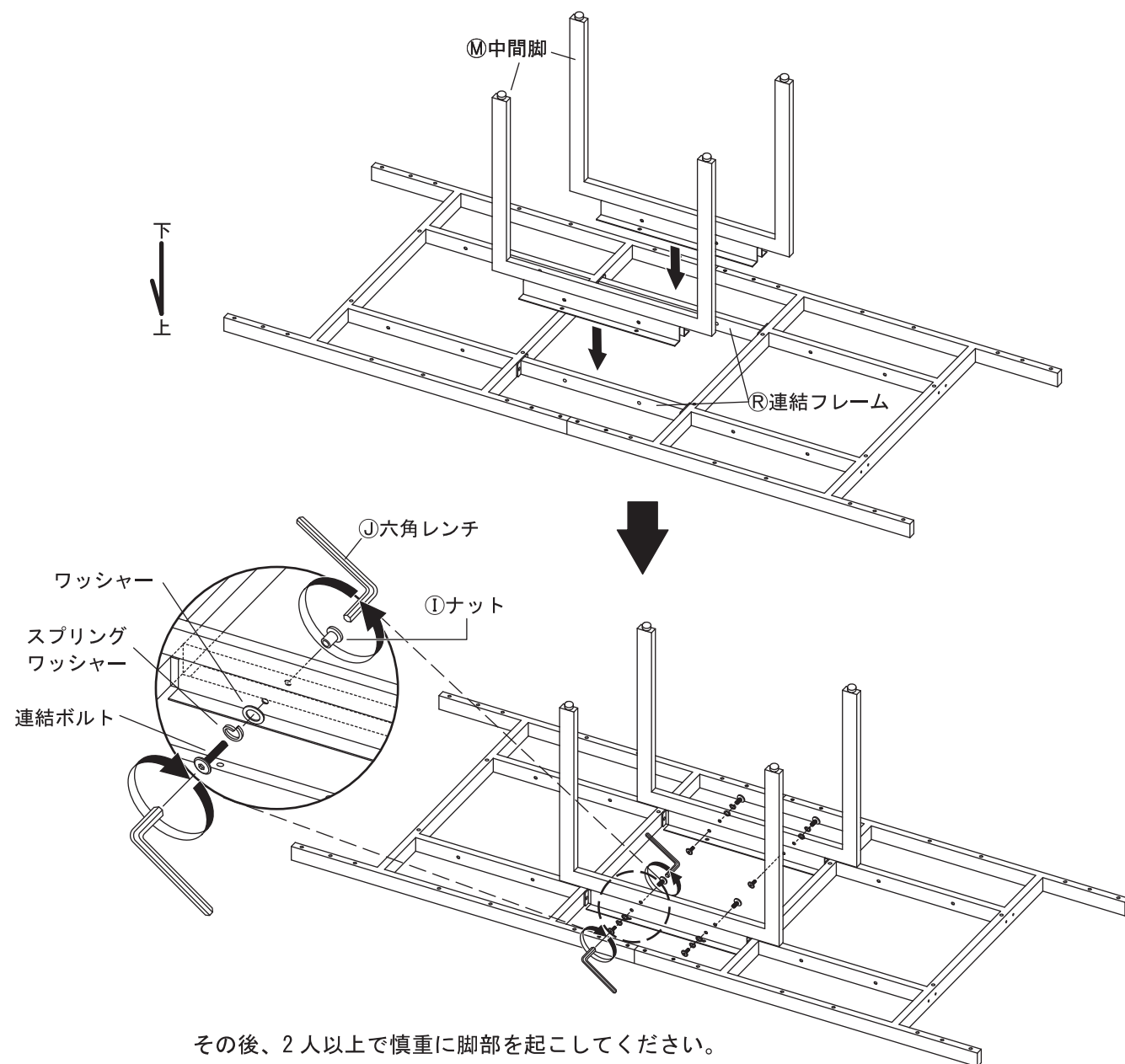
5

W3600 ~ W10800 共通

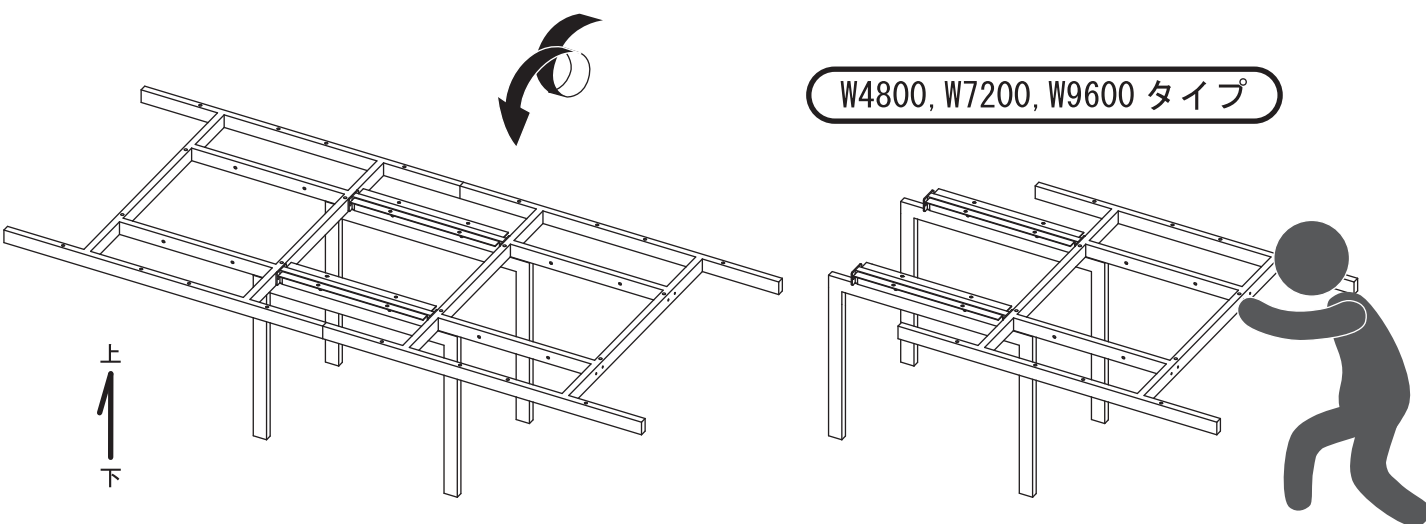
図の位置に⑧連結フレームを差し込み、①六角レンチを使って⑨六角穴付きJねじ小でしっかりと締め付けてください。



5で組み付けた $\textcircled{R}$ 連結フレームに $\textcircled{M}$ 中間脚を差し込みます。 $\textcircled{J}$ 六角レンチを使って $\textcircled{1}$ 連結ボルト・ナット・ワッシャー・スプリングワッシャーでしっかりと組み付けてください。



W4800, W7200, W9600 タイプ



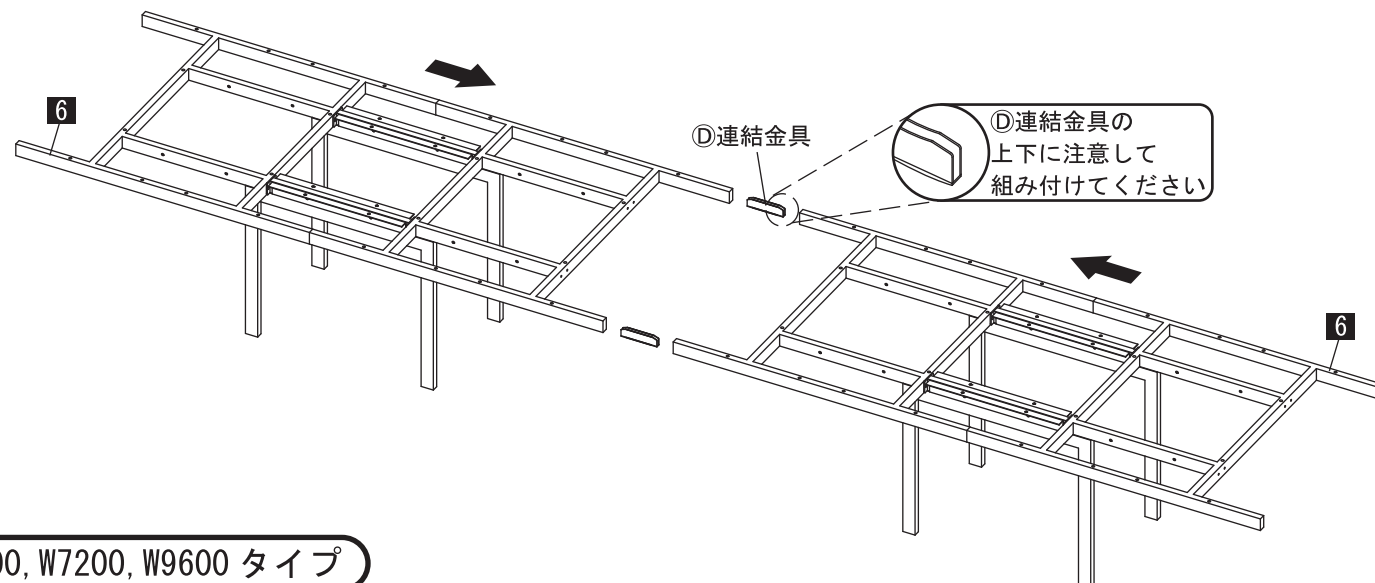
W4800, W7200, W9600 タイプは中間フレームが片側無いものが1セット組み立てられます。
とても不安定なため、起こす際と次工程で連結させる際には、必ず1人以上が支えながら作業を行ってください。

4ページの「中間脚部組立参考図」を参考に、3と6で組み付けた脚部同士を連結します。
 $\textcircled{D}$ 連結金具を差し込み、 $\textcircled{J}$ 六角レンチを使い、 $\textcircled{H}$ 六角穴付きJねじ小で組み付けてください。

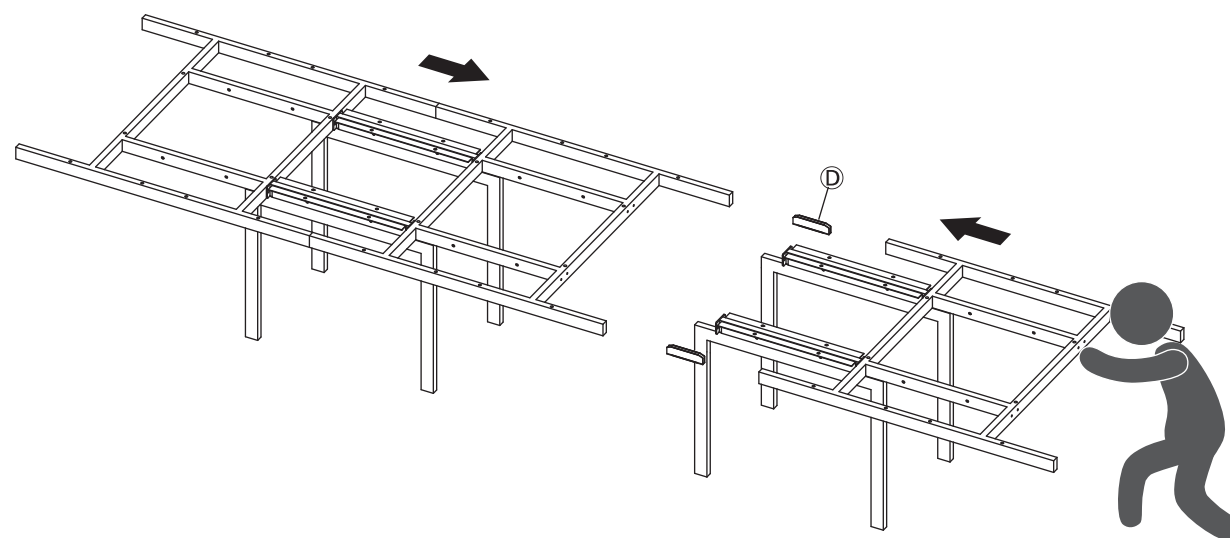


$\textcircled{D}$ 連結金具は片方の脚部に固定してから、片方の脚部を差し込んでください。
 $\textcircled{D}$ 連結金具がフレームの中に全て入ってしまうと、抜き取れなくなる可能性があるのでご注意ください。

W6000, W7200, W8400, W9600, W10800 タイプ



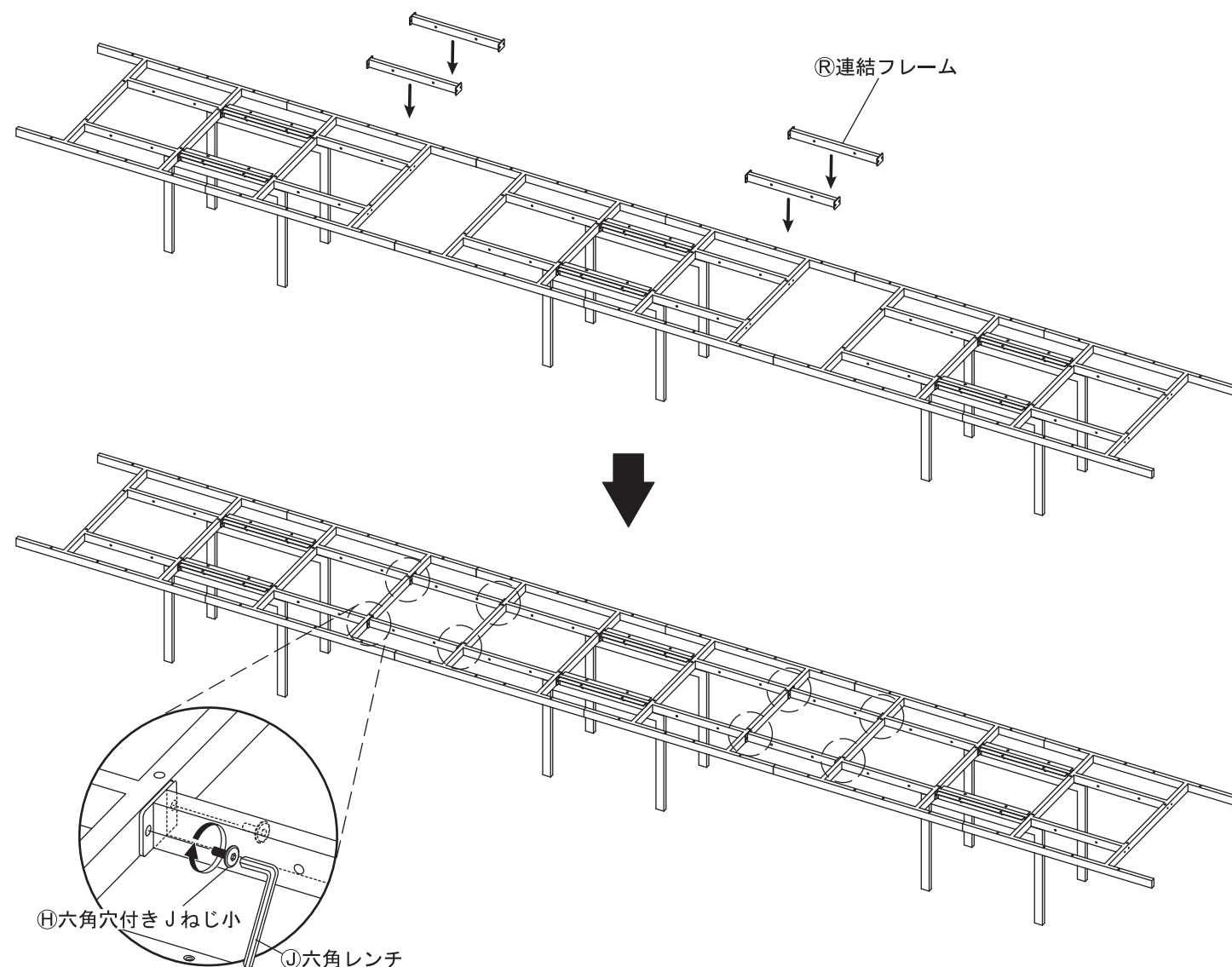
W4800, W7200, W9600 タイプ



W4800, W7200, W9600 タイプの脚部1セットはとても不安定なため、必ず1人以上が支えながら作業を行ってください。

7 で組み付けた各脚部の中間に、**⑧**連結フレームを組み付けます。
図の位置に**⑧**連結フレームを差し込み、**①**六角レンチを使って
⑨六角穴付き J ねじ小でしっかりと締め付けてください。

例：W8400 タイプ

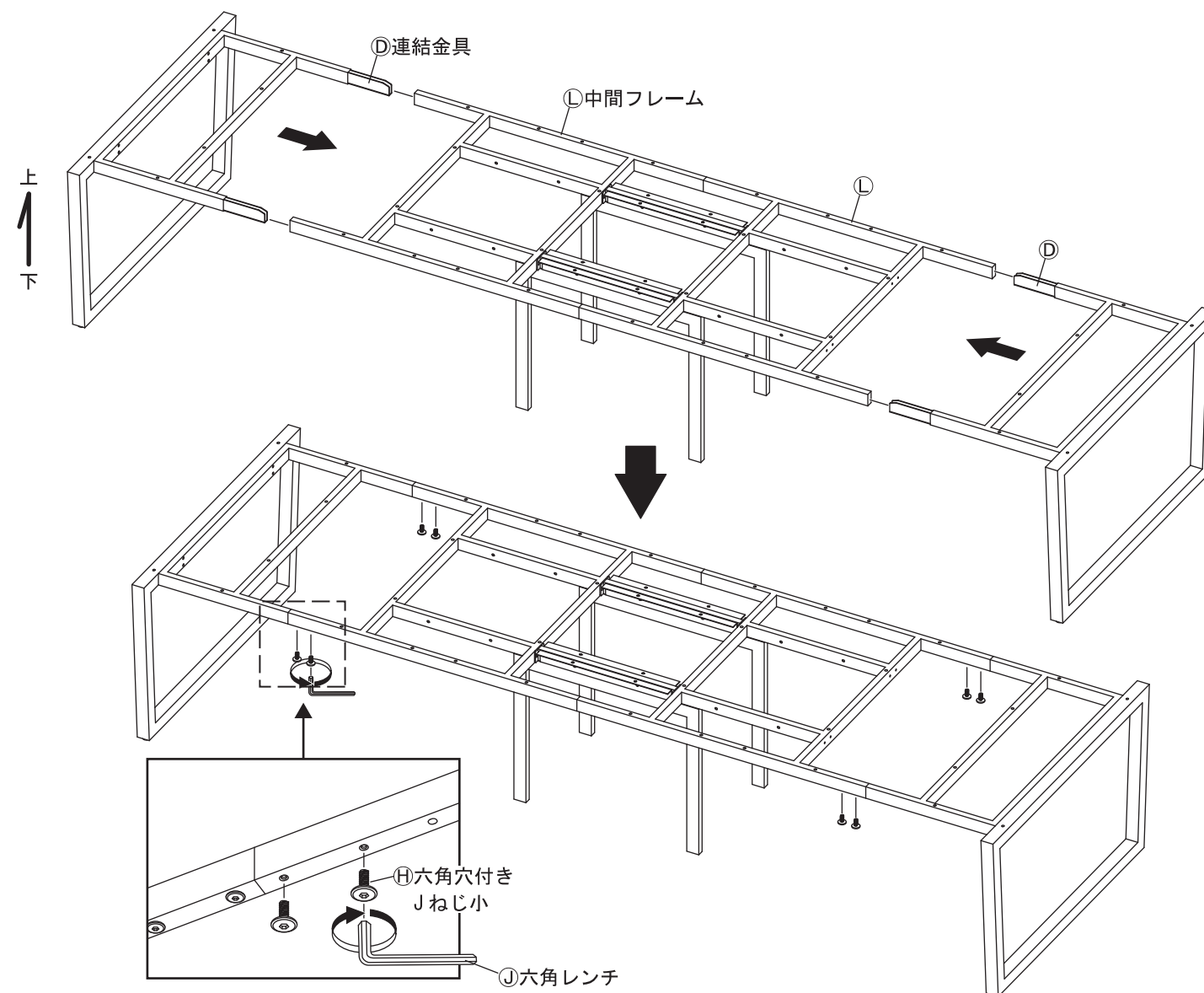


W2400 は **3** で組み付けた脚部、W3600 は **6** で組み付けた脚部、
その他サイズは **8** で組み付けた脚部両端の**①**中間フレームに **2** で組み付けた脚部の**②**連結金具を差し込みます。
①六角レンチを使い、**⑨**六角穴付き J ねじ小で組み付けてください。

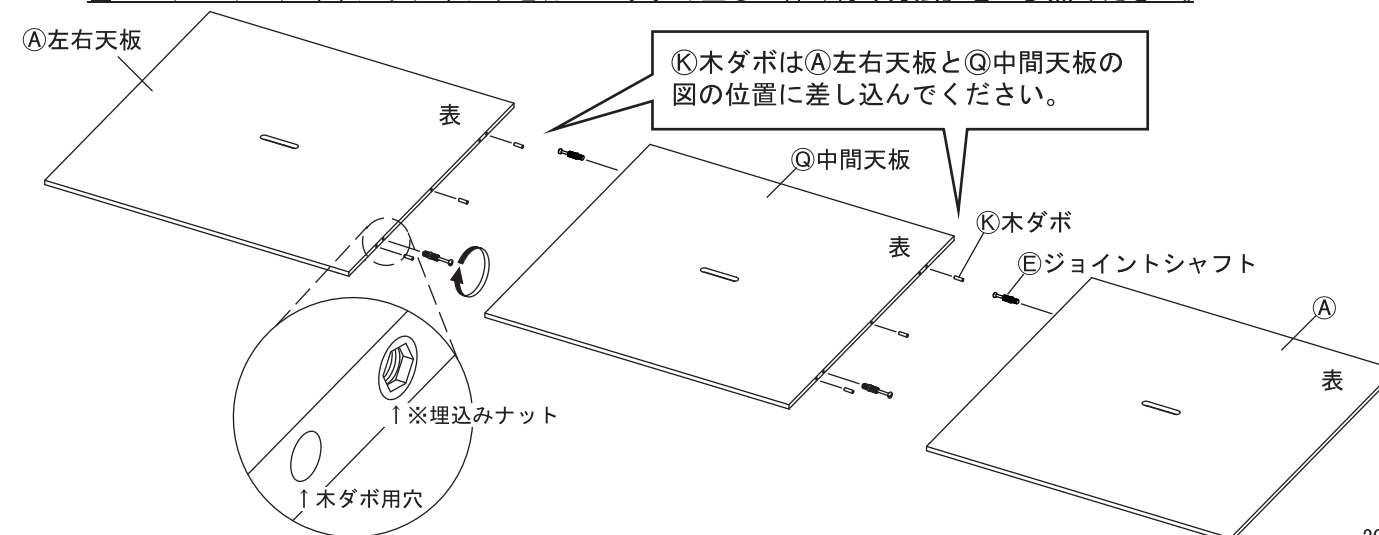


全サイズ共通

9 を含む以降の組み立て説明は、W3600 サイズを例として進めますが、
全サイズ組み立て方法に大きな違いはありません。
(**①**中間天板、**②**コンセントとそれを組み立てる各種部材の数に違いがあります。)

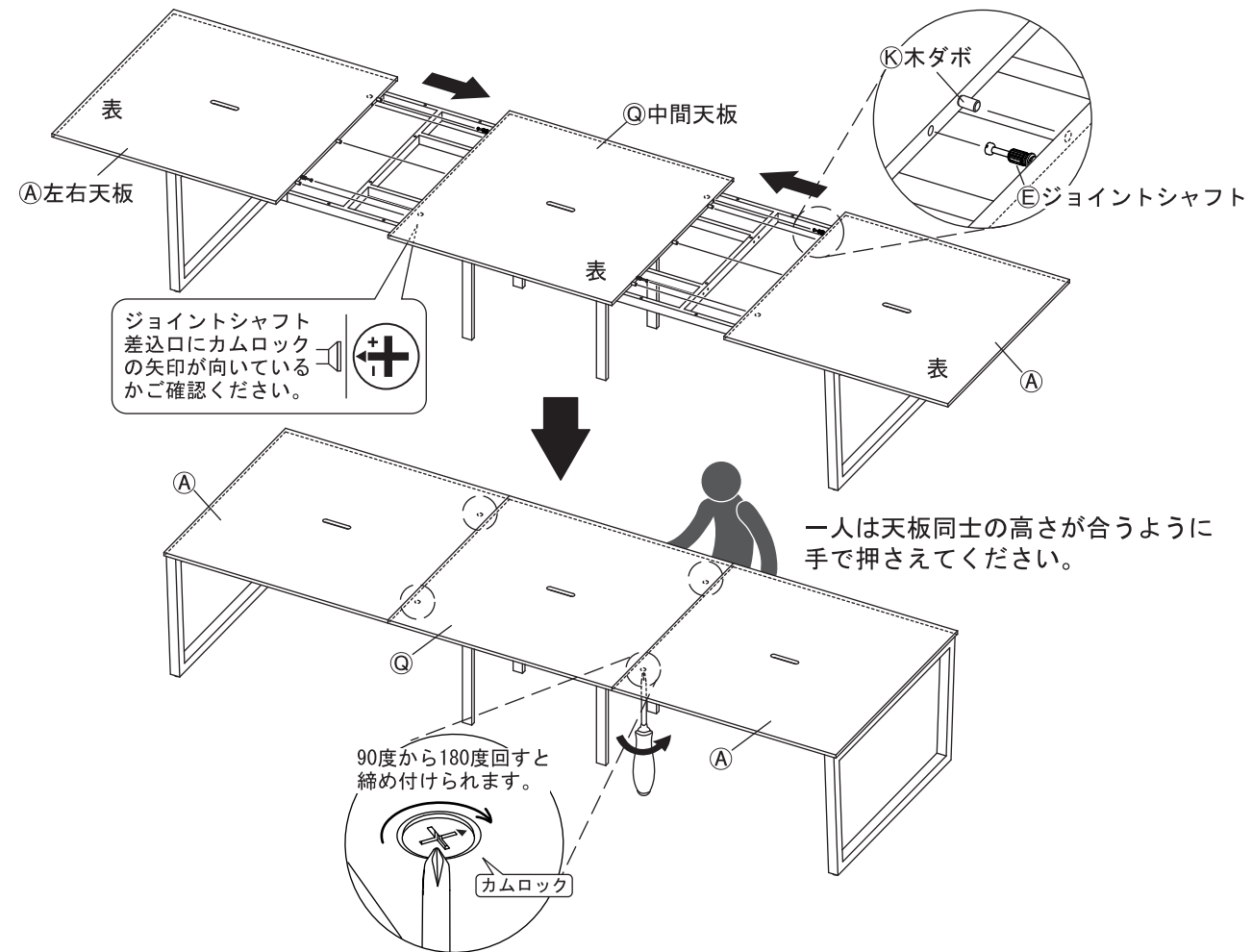


①左右天板、**②**中間天板を図のように並べ、**③**ジョイントシャフトと**④**木ダボを図の位置に取り付けてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



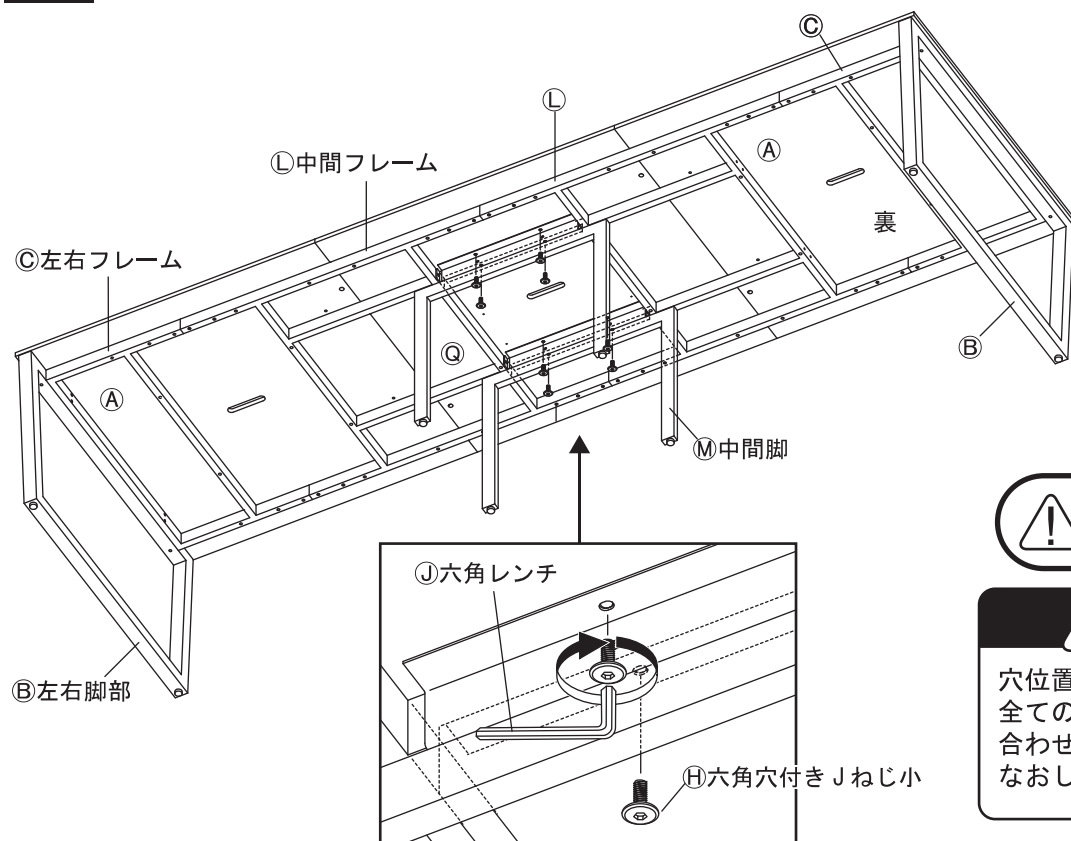
11

9 で組み立てた脚部に④左右天板・⑤中間天板を組み付けます。
天板同士、⑥ジョイントシャフトと⑦木ダボの位置を合わせて差し込んでください。
その後、④左右天板と⑤中間天板裏面のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



12

④④天板と⑧左右脚部・③左右フレームと①中間フレームの穴位置を合わせてください。
⑤六角レンチを使って、④中間天板と①中間脚を⑥六角穴付き J ねじ小で緩めに組み付けてください。



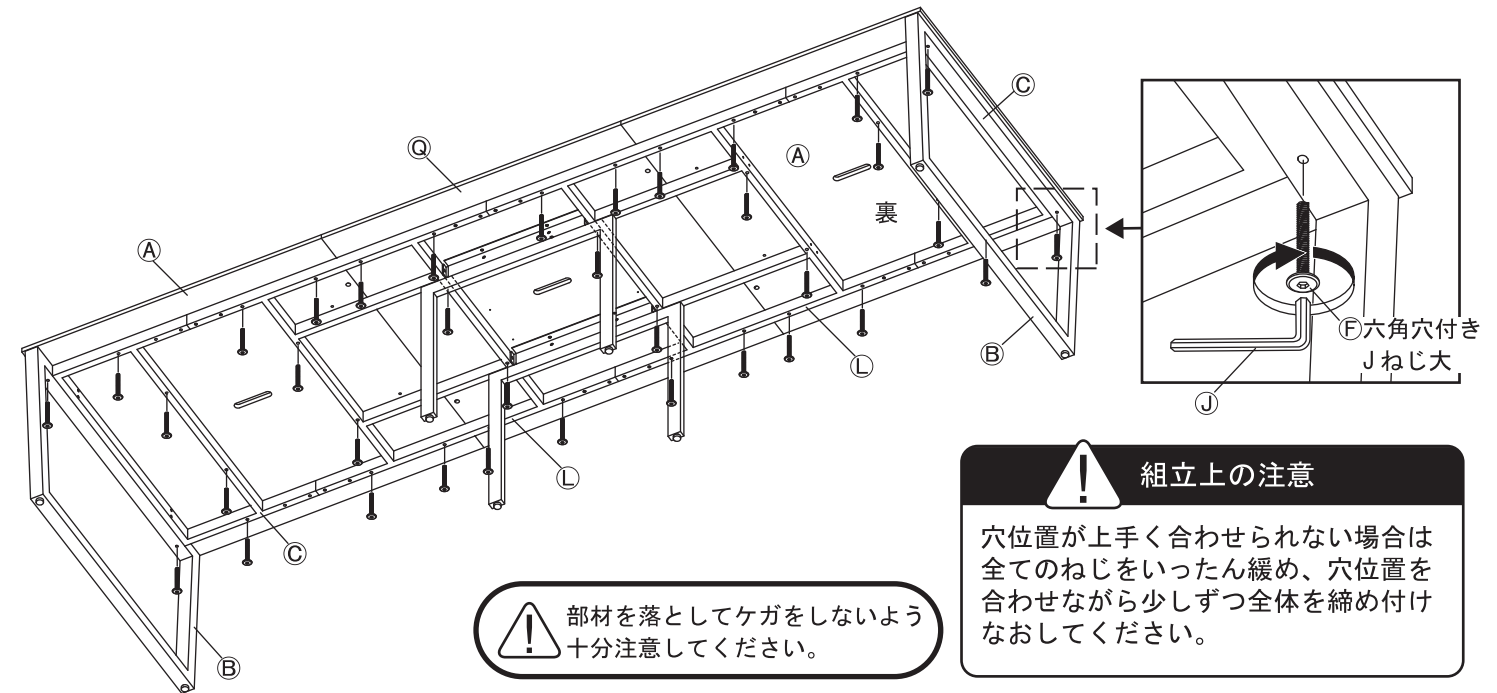
 部材を落としてケガをしないよう
十分注意してください。

組立上の注意

穴位置が上手く合わない場合は、
全てのねじをいったん緩め、穴位置を
合わせながら少しずつ全体を締め付け
なおしてください。

13

Ⓐⓐ天板と脚部の穴位置を合わせてください。ⓐ六角レンチを使って、Ⓐⓐ天板とⒷⓐ左右脚部・ⒸⓐフレームをⒺⓐ六角穴付きJねじ大で緩めに組み付けてください。全てのねじを取り付け終わったら、しっかりと増し締めして固定します。



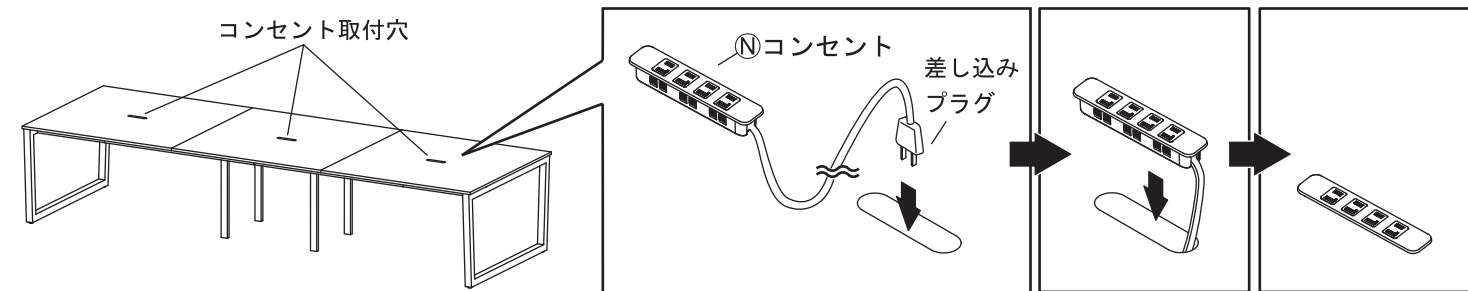
組立上の注意

穴位置が上手く合わせられない場合は
全てのねじをいったん緩め、穴位置を
合わせながら少しずつ全体を締め付け
なおしてください。

部材を落としてケガをしないよう
十分注意してください。

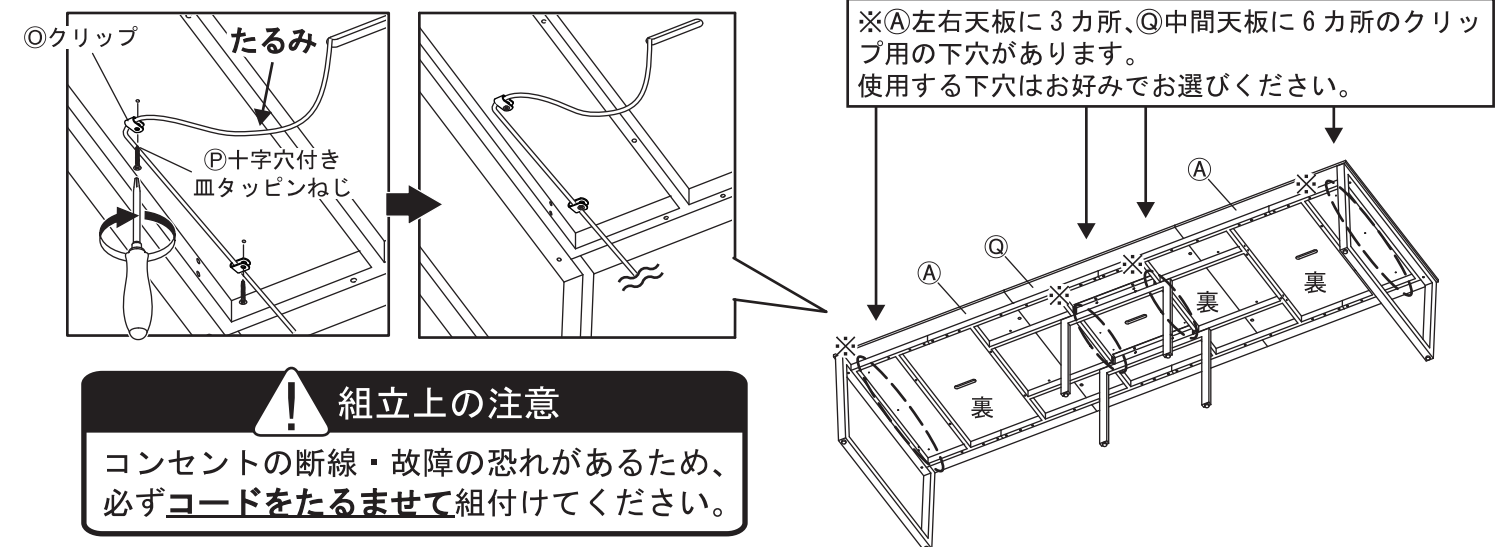
14

④左右天板・⑤中間天板に⑥コンセントを取り付けます。
④左右天板・⑤中間天板のコンセント取付穴に、⑥コンセントの差し込みプラグとコードを通してください。
その後、⑥コンセントを④左右天板・⑤中間天板にしっかり差し込むと固定されます。



15

⑨コンセントのコードを④左右天板・⑤中間天板のクリップ用の下穴に固定します。
 ⑥クリップに⑨コンセントのコードを通してください。
 その後、**コードを一部たるませて**からプラスドライバーを使用し⑦十字穴付き皿タッピンねじで④左右天板・
 ⑤中間天板にしっかり組み付けてください。



※④左右天板に3カ所、③中間天板に6カ所のクリップ用の下穴があります。
使用する下穴は好みで選びください。

組立上の注意

コンセントの断線・故障の恐れがあるため、必ずコードをたるませて組付けてください。

追加増連タイプの組み立て方法



組立前の注意

設置場所で組み立てしてください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり2人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

全ての㊞コンセントのプラグを電源元から抜いてください。

取り外す天板に設置した㊞コンセントのコードが、隣接する天板裏に固定されている場合、

㊿クリップ・㊿十字穴付き皿タッピンねじを取り外しコードを開放してください。

▲二人以上で組み立ててください。▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。

▲電動ドライバーを使用しないでください。

部材

お買い上げありがとうございます。
部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。
不足や不具合があった場合は配送いたします。
電話にて部品名をお伝えください。

梱包 4

NC-1517-B

㊞コンセント
×1

㊿クリップ
×2

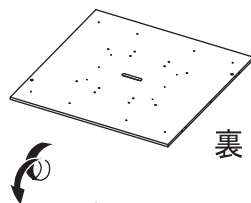
㊿十字穴付
皿タッピンねじ
×2
(3×16)



梱包 5

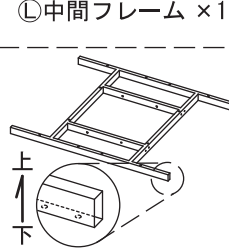
RFFLT-ADWH (NA, DM) -T

㊿中間天板 ×1

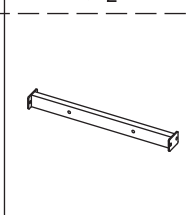


梱包 6

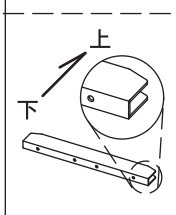
㊿中間フレーム ×1



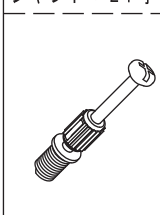
㊿連結フレーム
×2



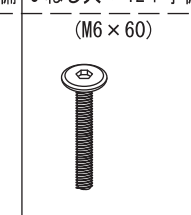
㊿連結金具 ×2



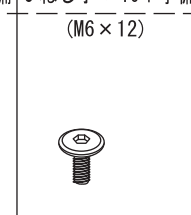
㊿ジョイント
シャフト ×2+予備



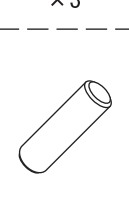
㊿六角穴付き
Jねじ大 ×12+予備
(M6×60)



㊿六角穴付き
Jねじ小 ×16+予備
(M6×12)

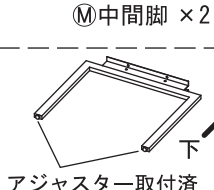


㊿木ダボ
×3

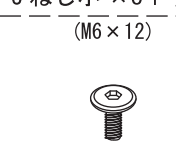


梱包 7

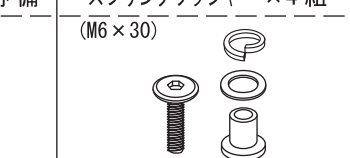
㊿中間脚 ×2



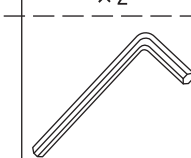
㊿六角穴付き
Jねじ小 ×8+予備
(M6×12)



㊿連結ボルト・ナット・ワッシャー
・スプリングワッシャー ×4組
(M6×30)



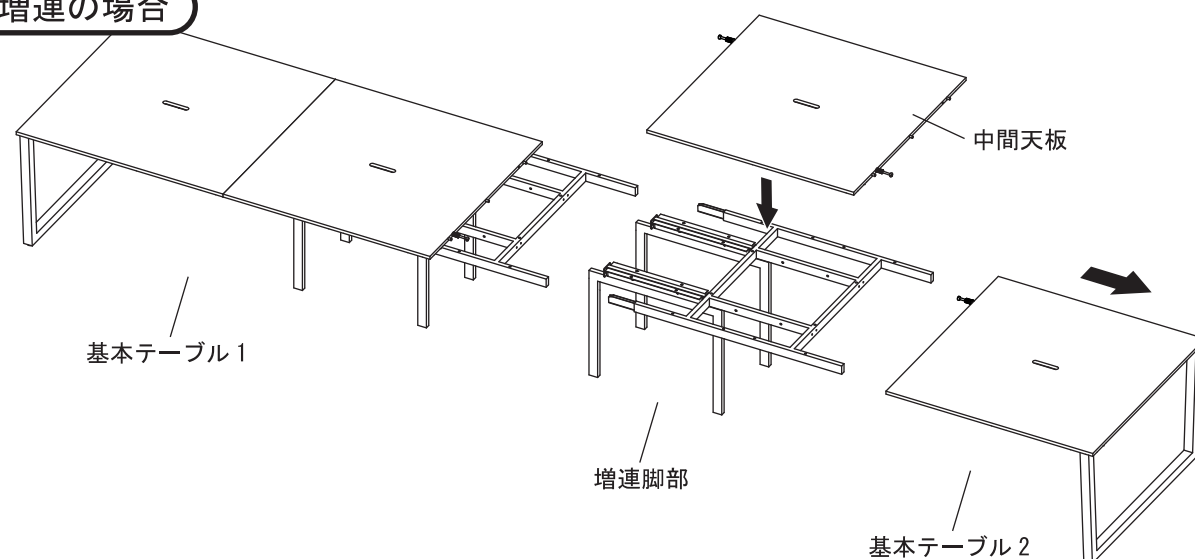
㊿六角レンチ
×2



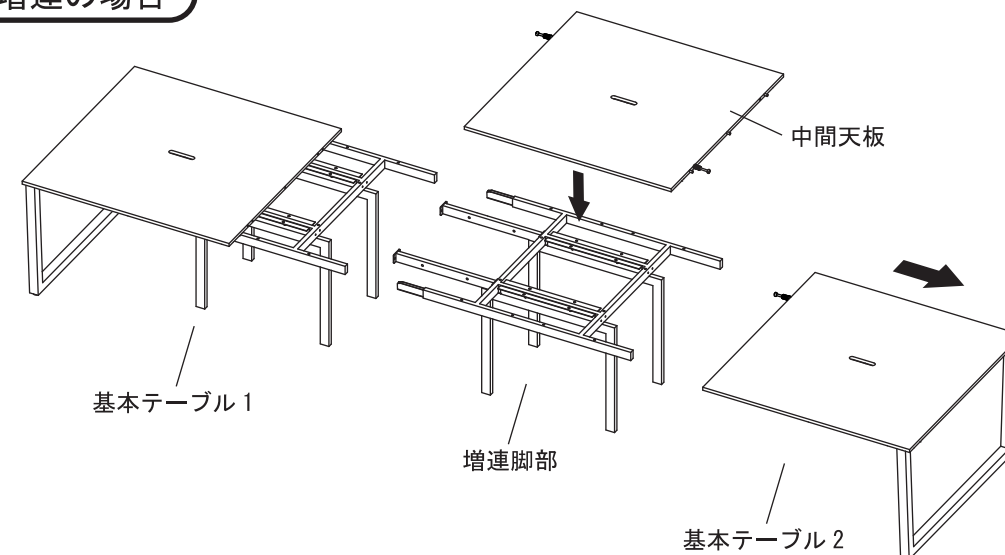
増連参考図

下図をご確認の上、製品の端に組み付けられている基本テーブル2を取り外し、基本テーブル1,2の中間に中間天板・増連脚部を組み付けます。

W3600 以上から増連の場合



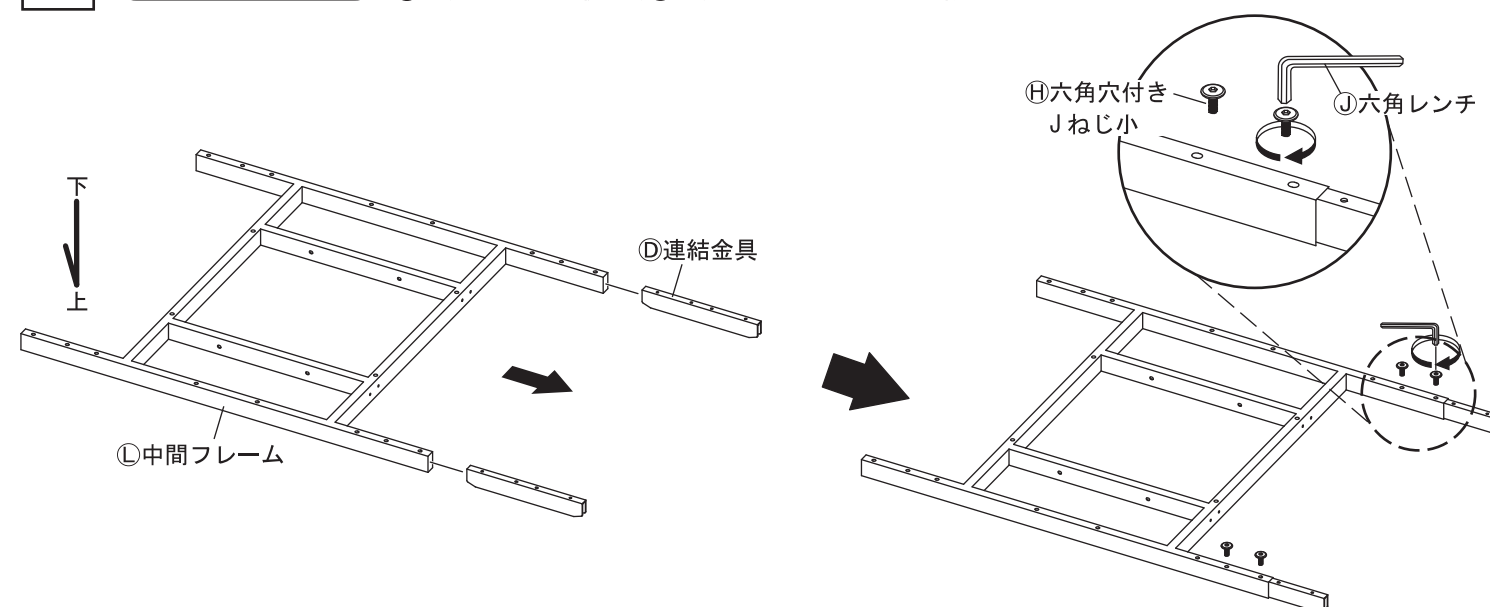
W2400 から増連の場合



1

全サイズ共通

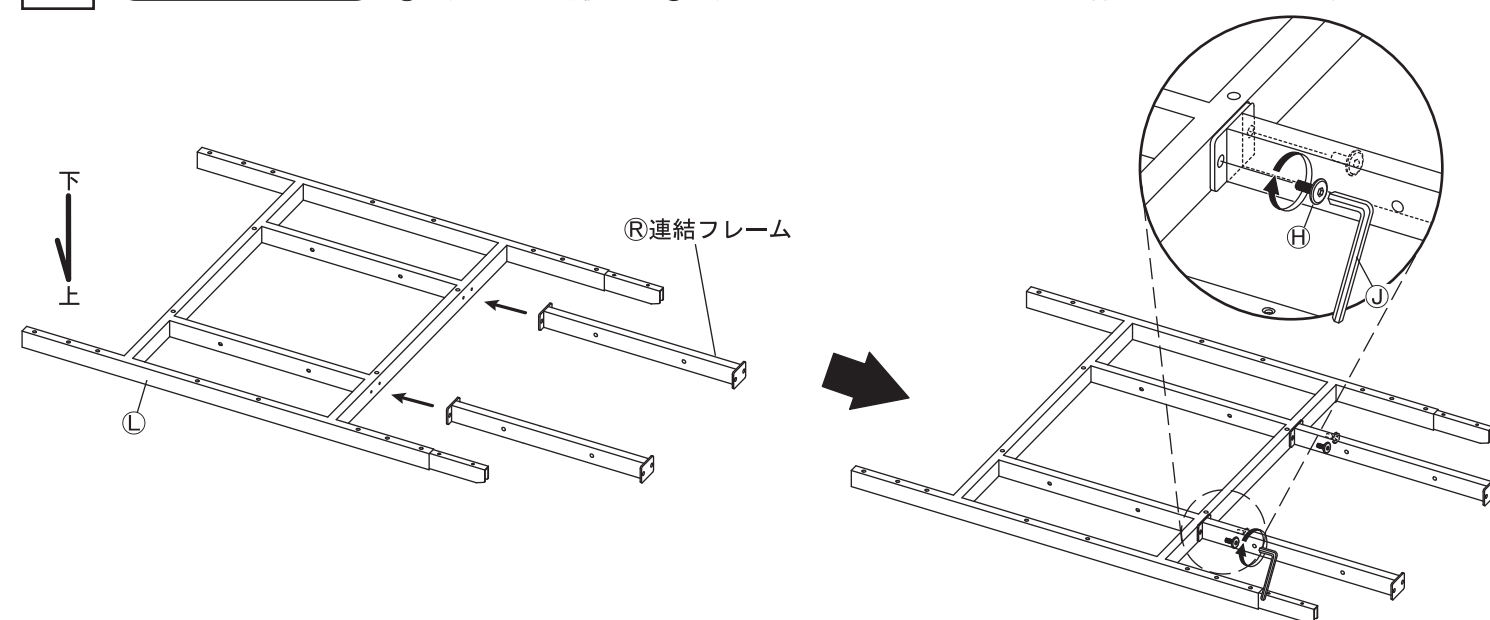
㊿中間フレームを図のように並べ、間に㊿連結金具を差し込みます。
㊿六角レンチを使い、㊿六角穴付きJねじ小で緩めに組み付けてください。



2

全サイズ共通

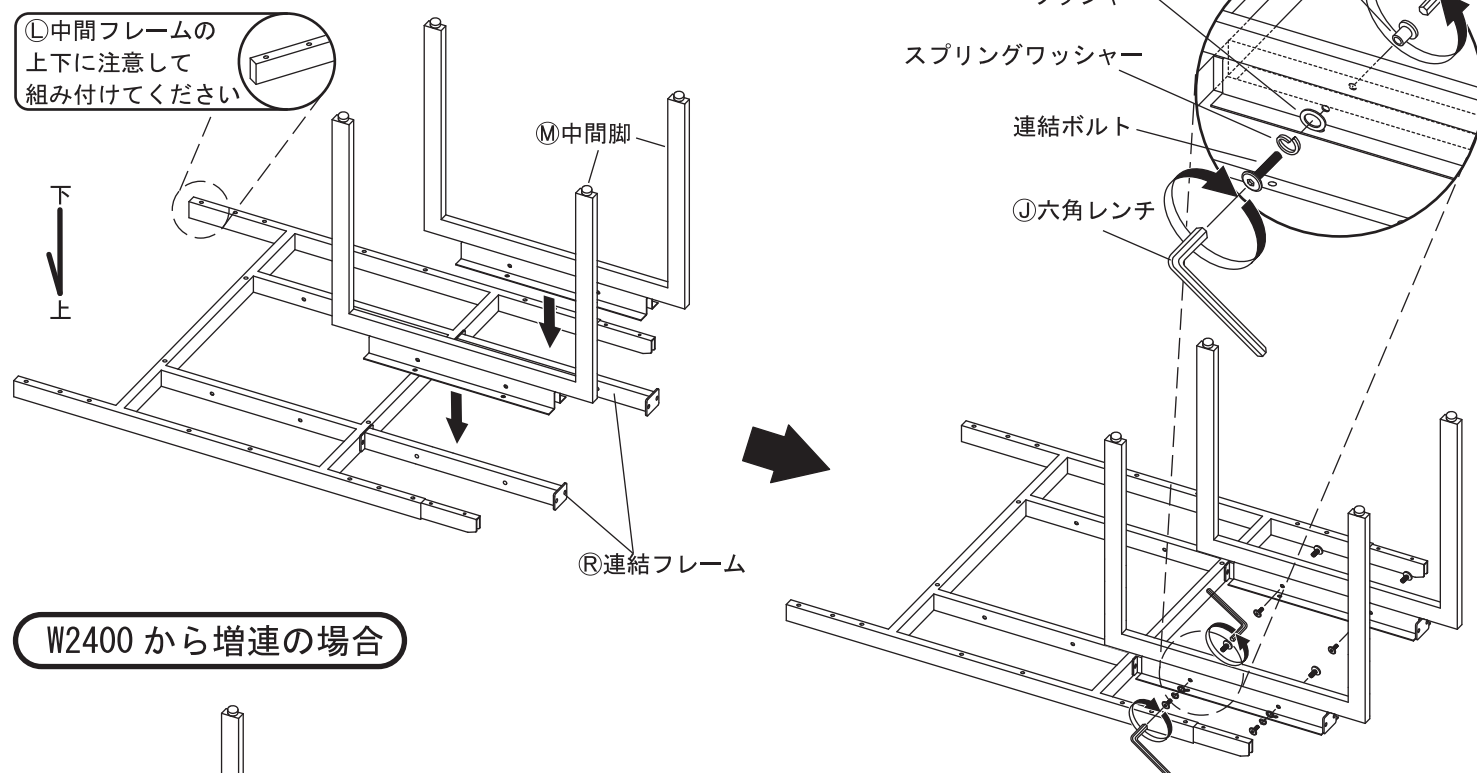
㊿中間フレームに㊿連結フレームを組み付けます。
㊿六角レンチを使って㊿六角穴付きJねじ小でしっかりと締め付けてください。



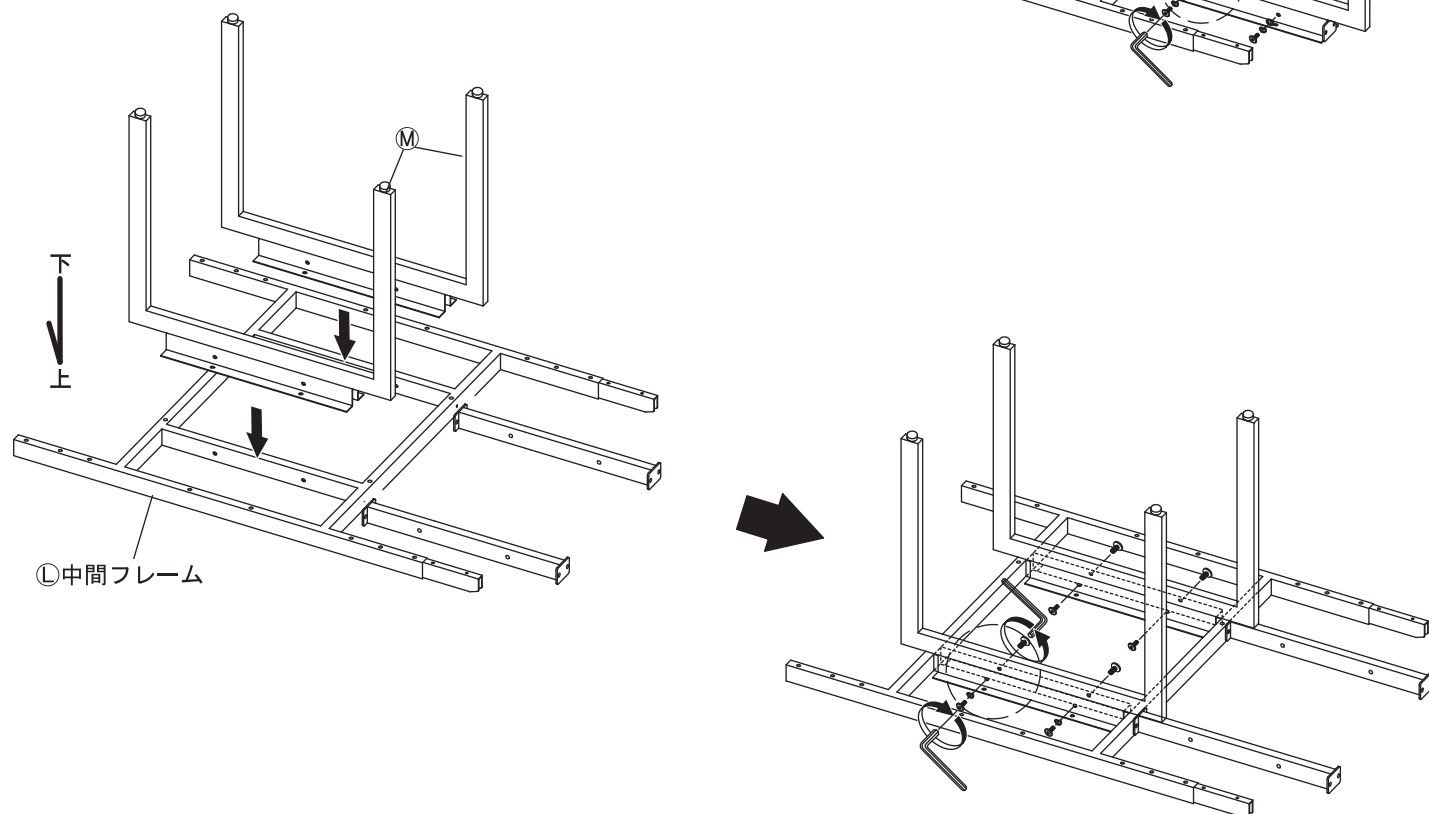
3

②で組み付けた①中間フレーム又は⑧連結フレームに⑨中間脚を差し込みます。(組み立てサイズによって異なります)
⑩六角レンチを使って①連結ボルト・ナット・ワッシャー・スプリングワッシャーでしっかりと組み付けてください。

W3600 以上から増連の場合



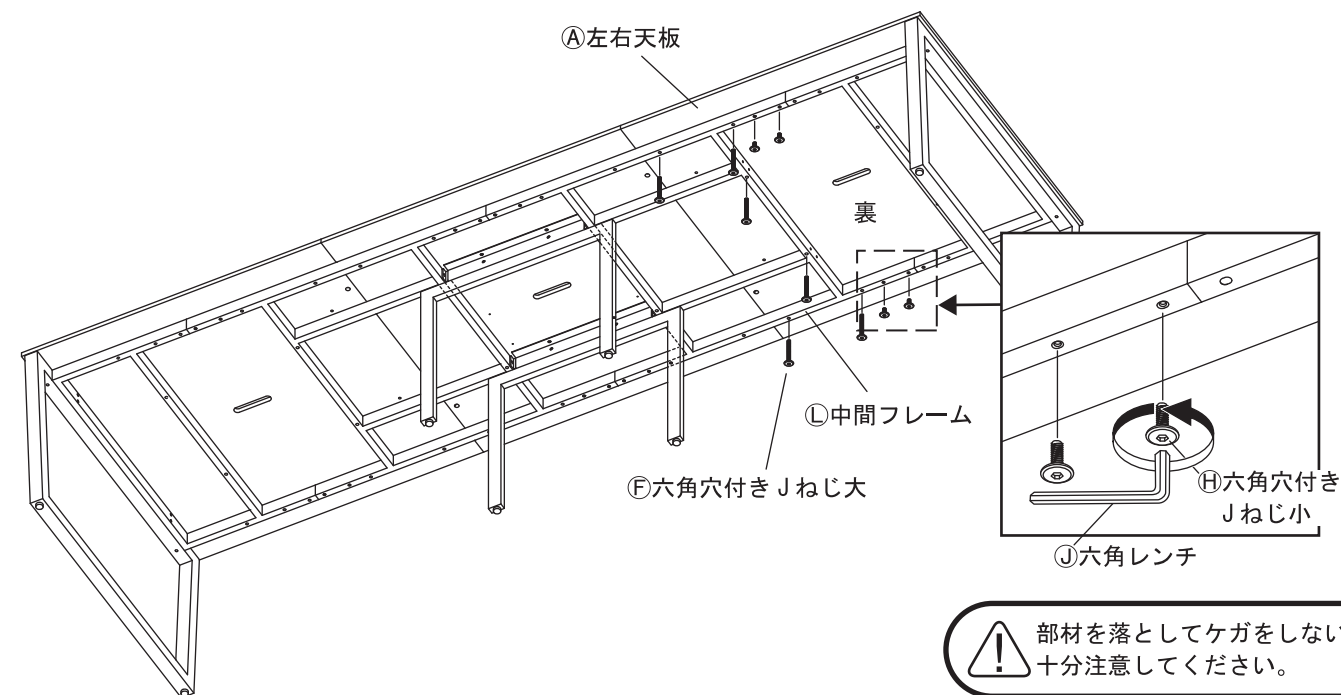
W2400 から増連の場合



4

全サイズ共通

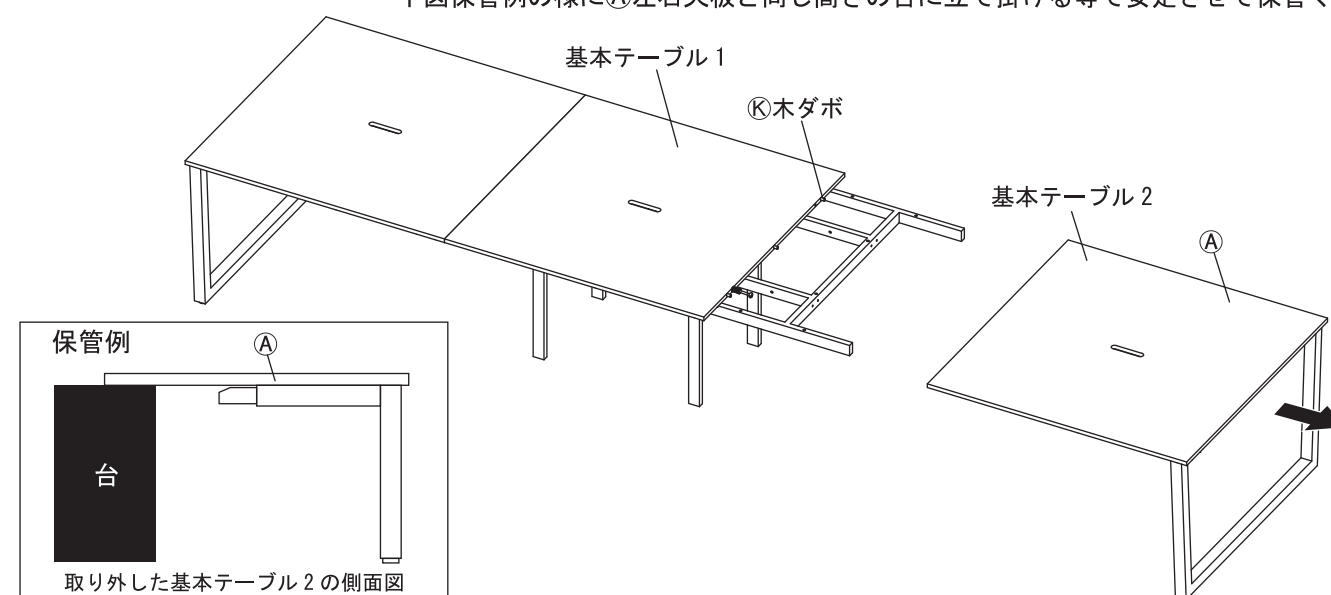
基本テーブルの片側①天板裏と①中間フレームに取り付けられた、
⑥六角穴付きJねじ大と⑦六角穴付きJねじ小を⑩六角レンチを使って取り外します。



5

全サイズ共通

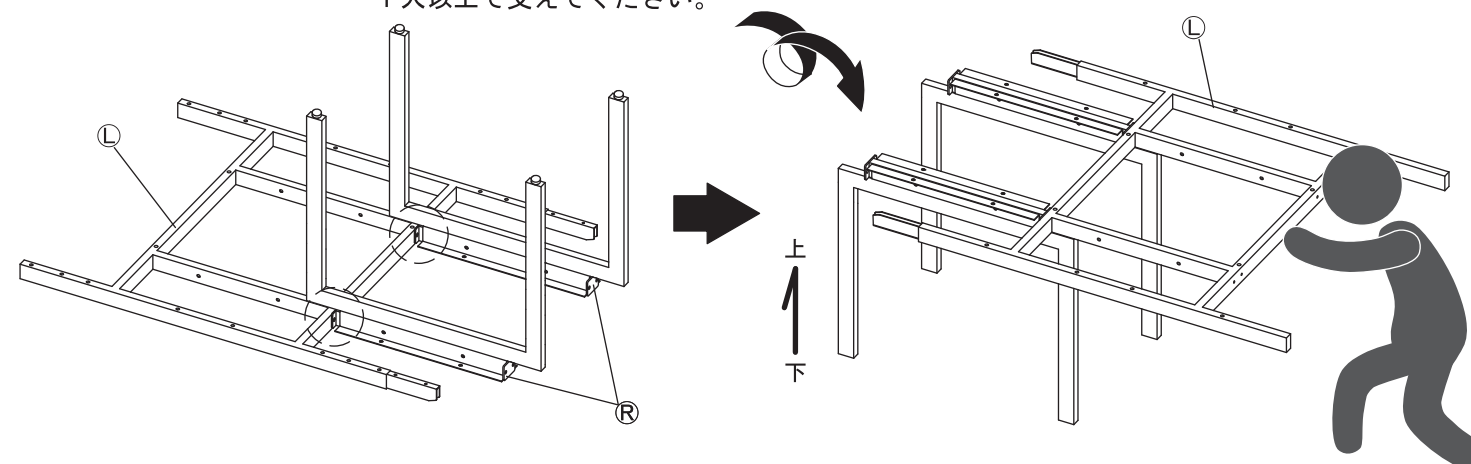
2人以上で慎重に基本テーブル2を取り外します。⑫木ダボが外れやすくなっています。
基本テーブル1に差し込んだままにしておいてください。取り外した基本テーブル2は、
下図保管例の様に①左右天板と同じ高さの台に立て掛ける等で安定させて保管ください。



6

全サイズ共通

③で組み付けた脚部を2人以上で慎重に起こします。その際に、①中間フレームと
⑧連結フレームの接合部に負荷が掛かりやすいため、起こした後も①中間フレームを
1人以上で支えてください。

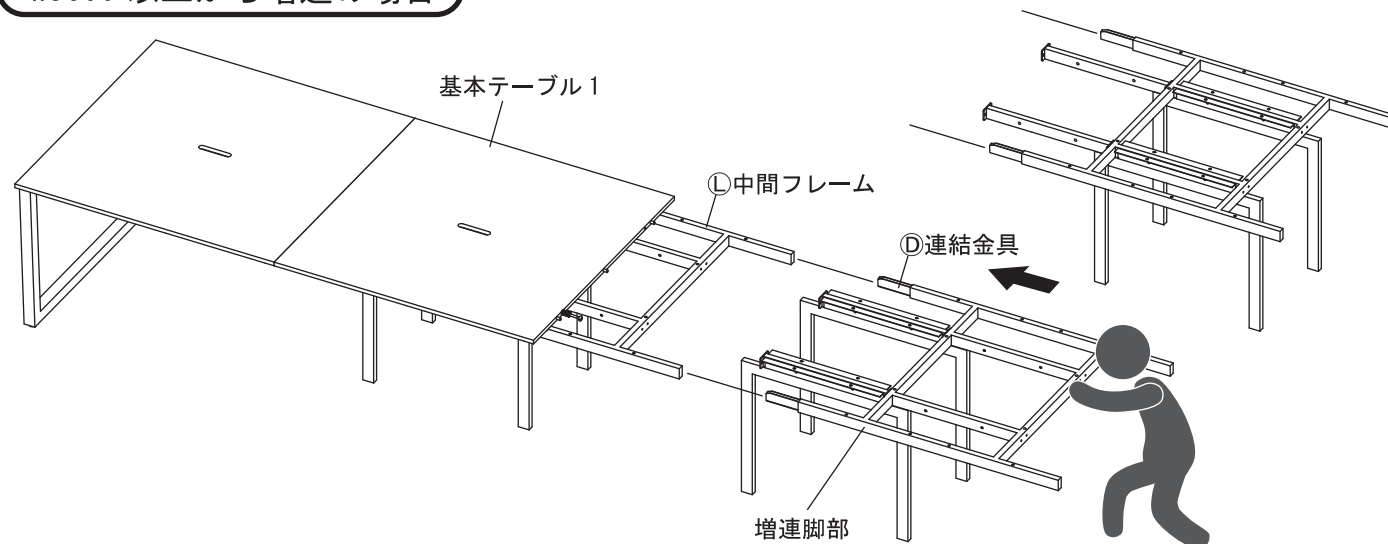


7

⑥で組み付けた増連脚部を基本テーブル1に組み付けます。下図の様に、⑩連結金具を⑪中間フレームに差し込みます。

W3600 以上から増連の場合

W2400 から増連の場合



8

⑦で差し込んだ⑩連結金具と⑪中間フレームを、⑪六角レンチを使い⑨六角穴付きJねじ小で締め付けます。その後、⑪中間フレームと⑫連結フレームを、⑪六角レンチを使い⑨六角穴付きJねじ小で締め付けます。

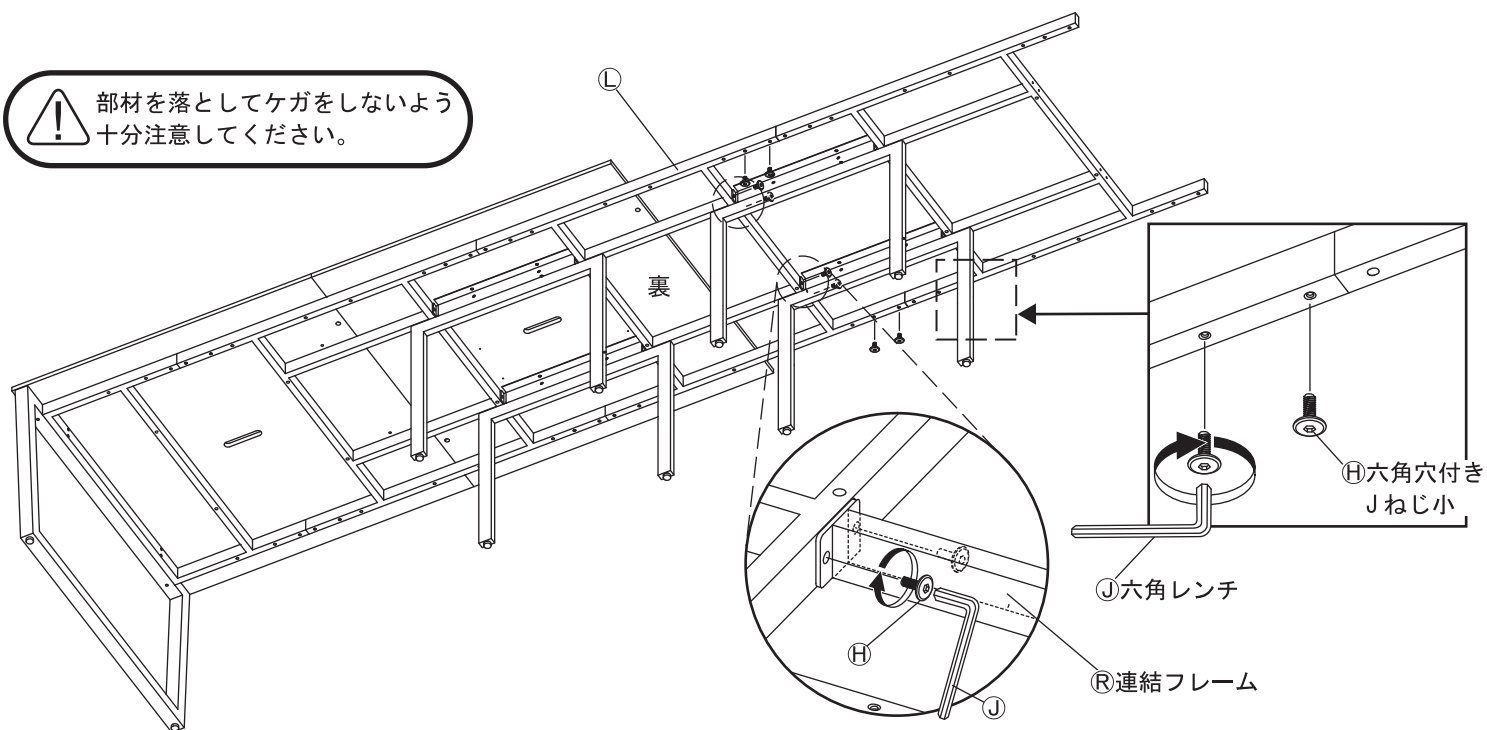


全サイズ共通

⑧を含む以降の組み立て説明は、W4800 サイズを例として進めますが、全サイズ組み立て方法に大きな違いはございません。

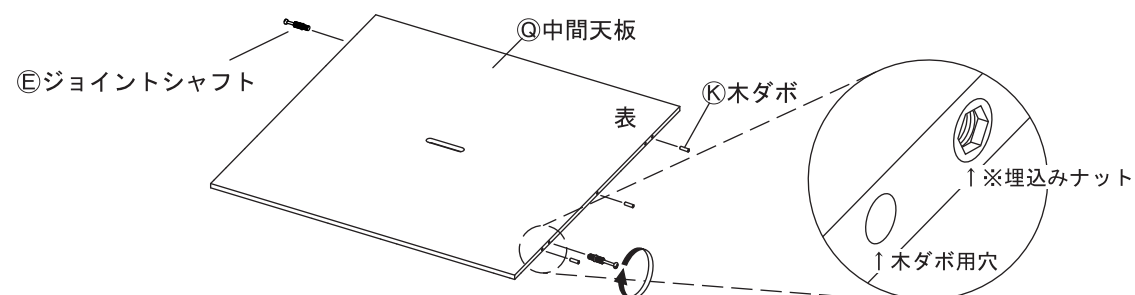


部材を落としてケガをしないよう
十分注意してください。



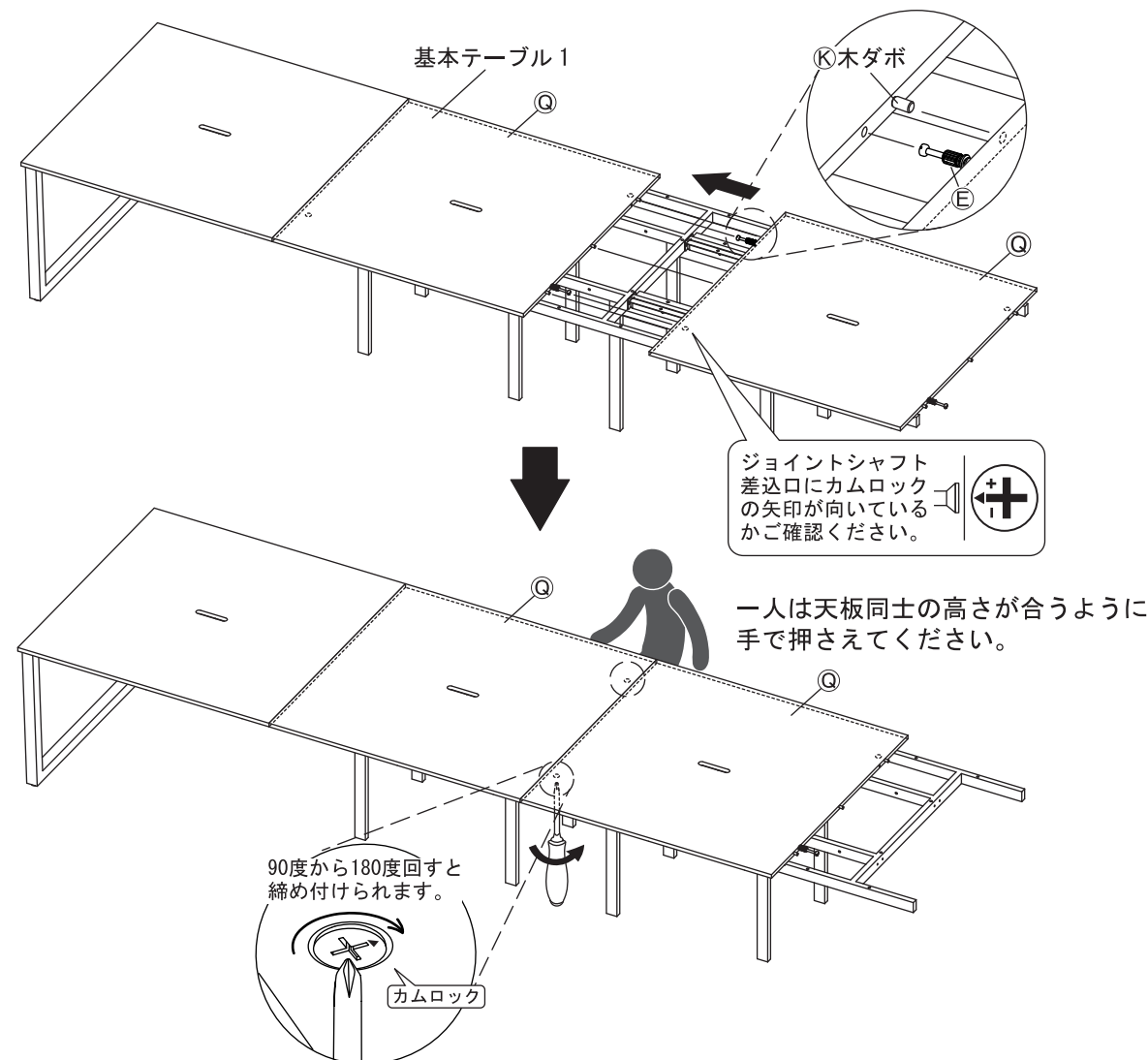
9

④中間天板に⑤ジョイントシャフトと⑥木ダボを図の位置に取り付けます。
※ジョイントシャフト取り付け部分にはナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



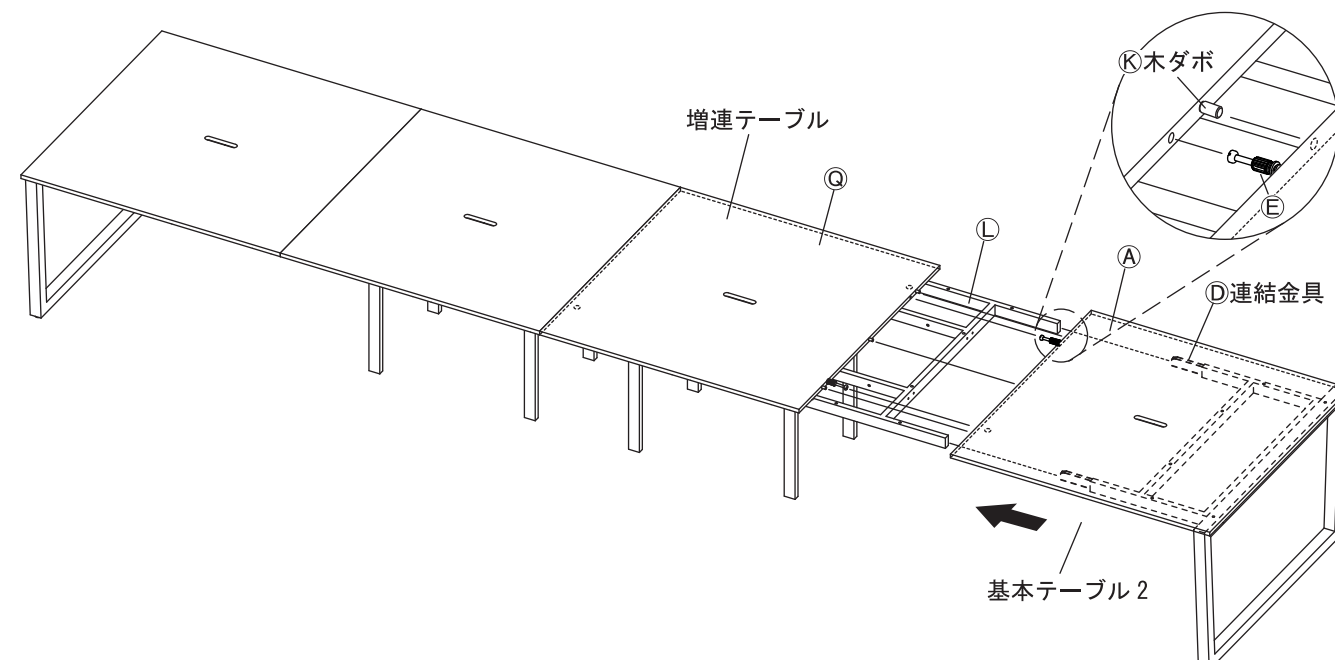
10

⑦で組み付けた④中間天板を基本テーブル1の④中間天板に組み付けます。
天板同士、⑤ジョイントシャフトと⑥木ダボの位置を合わせて差し込んでください。
その後、④中間天板裏面のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

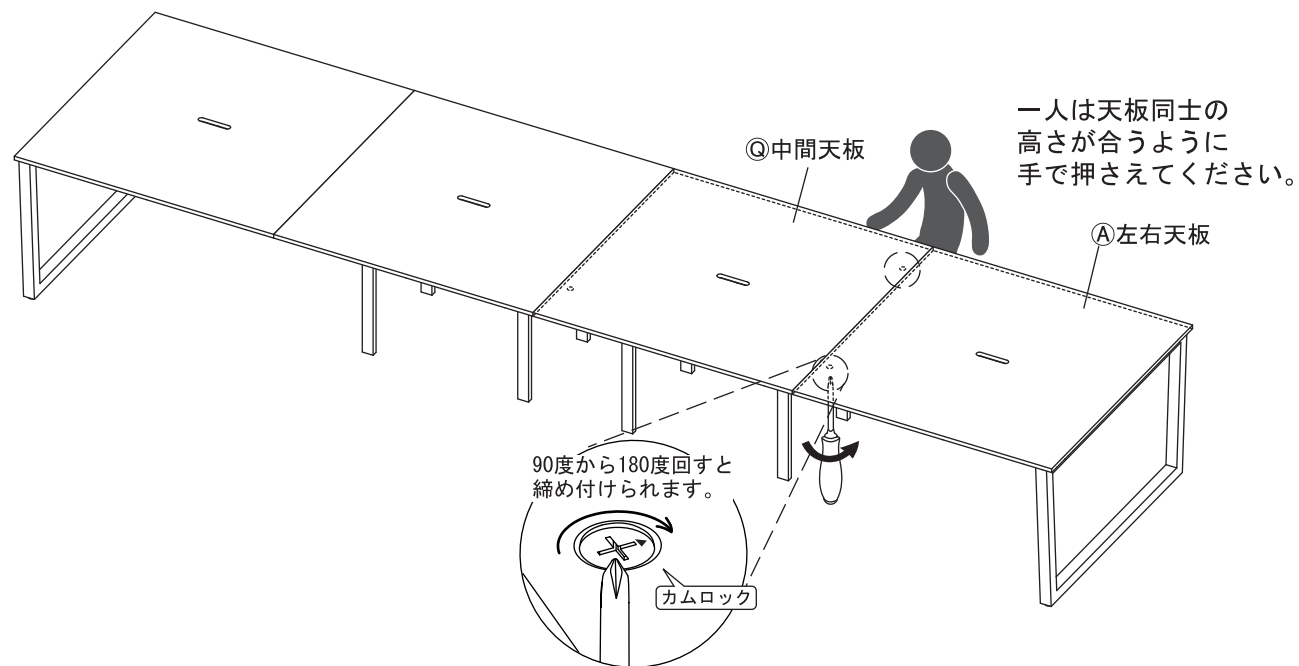


11

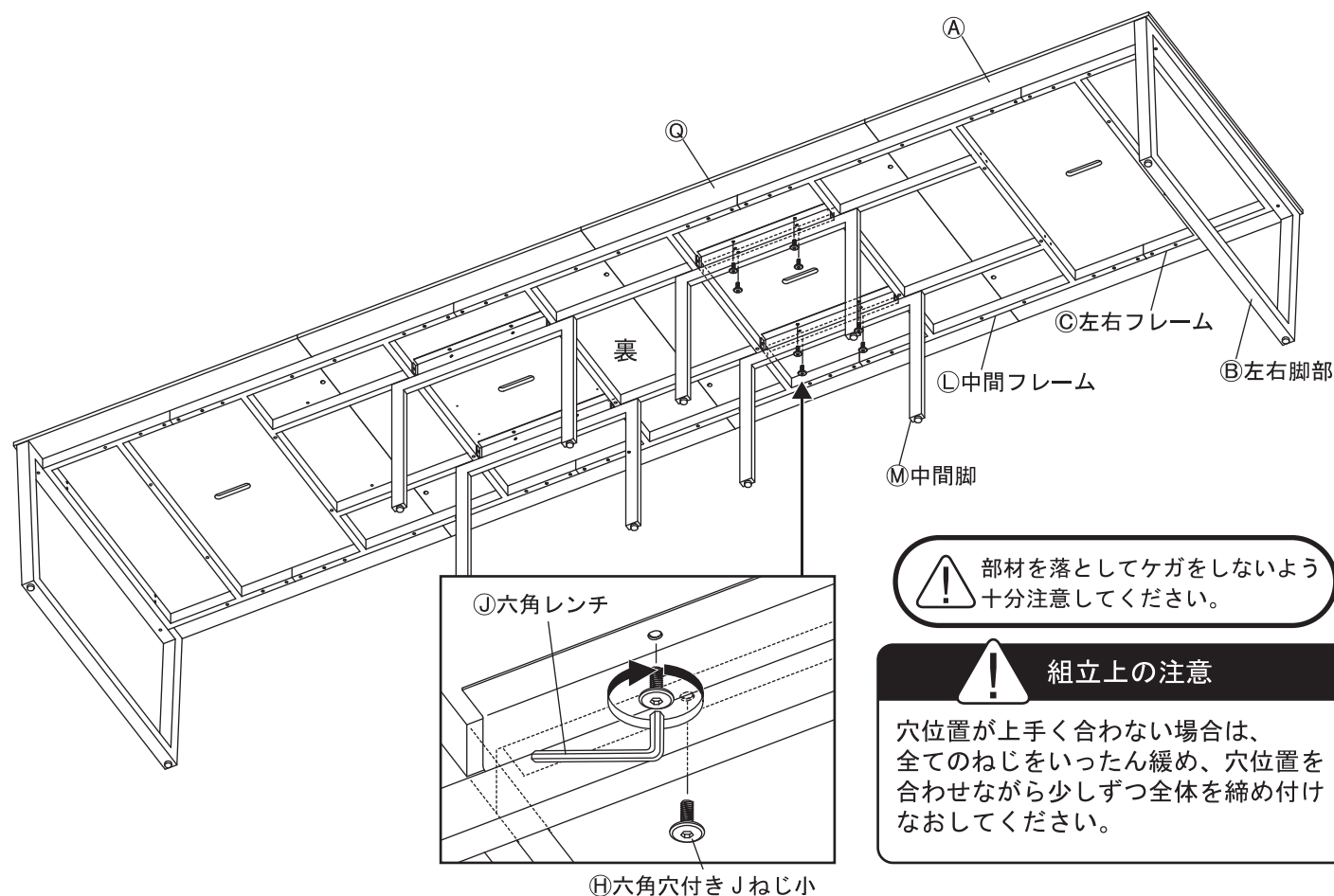
⑩で組み付けた増連テーブルと、⑤で取り外した基本テーブル2を組み付けます。
天板同士、⑤ジョイントシャフトと⑥木ダボを、⑪中間フレームと⑩連結金具の位置を合わせて差し込んでください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



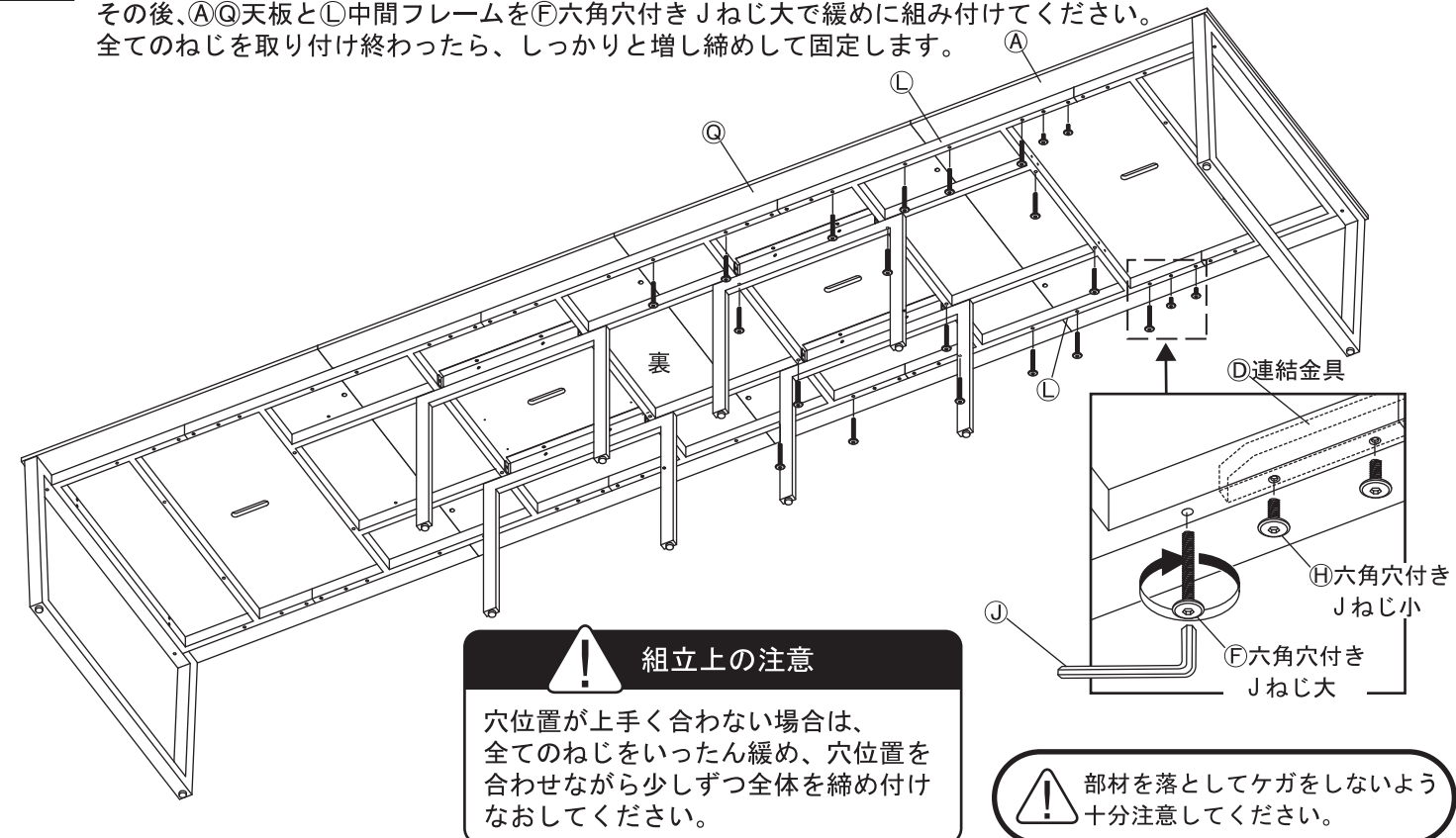
①左右天板と②中間天板裏面のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



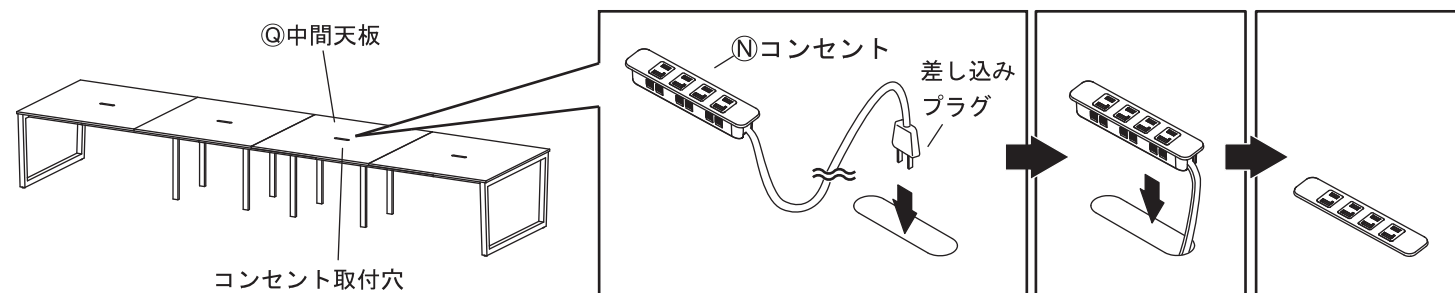
①②天板と③左右脚部・④左右フレームと⑤中間フレームの穴位置を合わせてください。
 ⑥六角レンチを使って、⑦中間天板と⑧中間脚を⑨六角穴付き J ねじ小で緩めに組み付けてください。



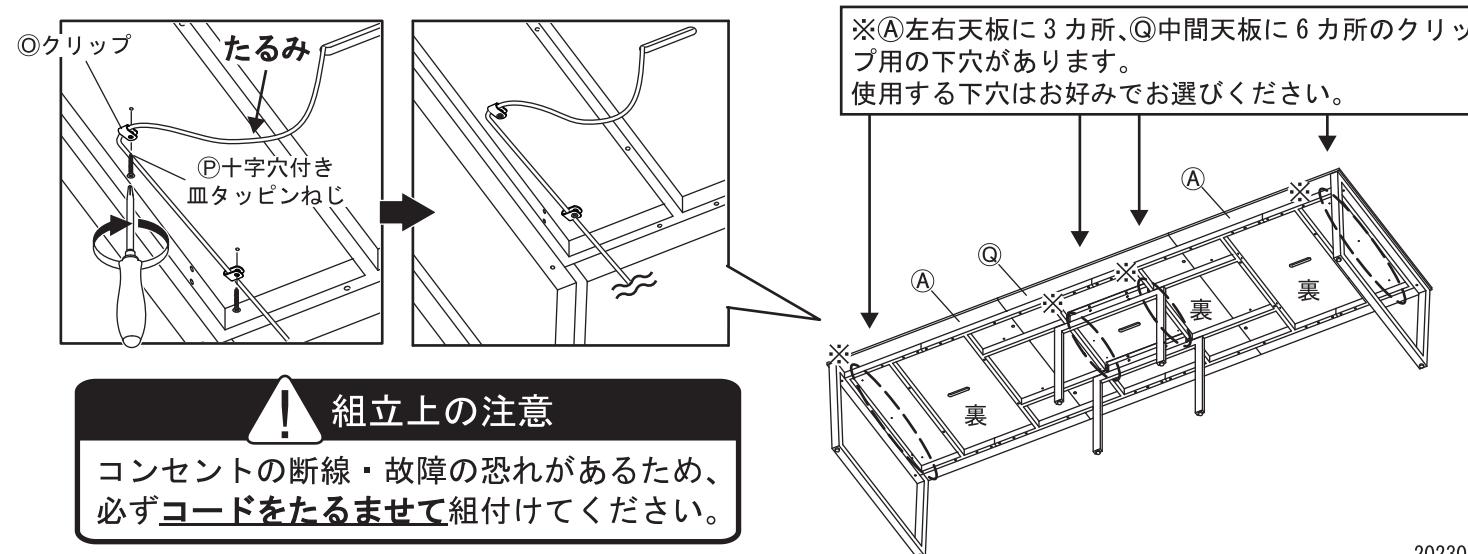
①②天板と脚部の穴位置を合わせてください。
 ⑥六角レンチを使って、⑦連結金具と⑧中間フレームをしっかりと締め付けてください。
 その後、①②天板と⑧中間フレームを⑨六角穴付き J ねじ大で緩めに組み付けてください。
 全てのねじを取り付け終わったら、しっかりと増し締めして固定します。



⑦中間天板に⑩コンセントを取り付けます。
 ①左右天板・②中間天板のコンセント取付穴に、⑩コンセントの差し込みプラグとコードを通してください。
 その後、⑩コンセントを①左右天板にしっかりと差し込むと固定されます。



⑩コンセントのコードを②中間天板のクリップ用の下穴に固定します。
 ②クリップに⑩コンセントのコードを通してください。
 その後、コードを一部たるませてからプラスドライバーを使用し⑪十字穴付き皿タッピンねじで②中間天板に
しっかりと組み付けてください。





取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
またお読みになった後は、大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。火災の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- 商品を移動させる際には、コンセントをつなげたまま移動しないでください。
- 商品を移動させる際は、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- ご使用前にアジャスターを床に合わせて高さ調節してください。アジャスターの調整時は手や足を挟まないように気をつけてください。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する場合があります。その場合の責任は負いかねますのでご了承くださいますようお願いいたします。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損することがあります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲液体物が付着した場合は、放置せずにすみやかに拭き取ってください。化粧面が変色、変形する場合があります。
- ▲ご使用の環境により、床面にアジャスター・キャスター等の商品接触による変色や跡が付くことがあります。特にフローリングやクッションフロアでご使用の際はご注意ください。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き取り、そのあと乾燥した布で水分を十分拭き取ってください。
- ◆シンナー等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

⚠ コンセントに同封されている取扱上の注意もあわせてご確認ください。

組み立て方やお手入れに困ったら

アールエフヤマカワ お客様相談室



▲腰掛けない



▲高温を避ける



電動ドライバーの

使用厳禁



指はさみ注意



ねじを十分に
締め付ける



プラスドライバー
必要



2人以上で組立



布の上で組立

＜品質表示＞

外形寸法 (mm)	幅	奥行き	高さ
・基本 RFFLT-2412WH (NA, DM) (BK)-T (L, ML)	2400	1200	720
・増連 RFFLT-ADWH (NA, DM) (BK)-T (F, ML)	基本 +1200	1200	720
耐荷重 (均等荷重) 天板 1 枚当たり	約 40kg		
材質 甲板の表面材	合成樹脂化粧パーティクル ボード (メラミン樹脂)		
脚部・フレーム コンセント	金属 (鋼) 合成樹脂		

アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208



商品チェック

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身での製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所と

お客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社

お客様相談室までお問い合わせください。

☑ チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、
下記項目は定期的にご確認ください。

☐ 本体に破損や変色・変形は見当たらないか

…異常を発見した場合はお問い合わせください。

☐ カムロックは正常に締結しているか

…別項「カムロックの正しい締結方法」をご参照ください。

☐ 隙間やグラつきはないか

…全てのねじがしっかりと締め付けられているかご確認ください。

ねじにゆるみがないよう、定期的に増し締めしてください。

☐ 完成図との相違は見当たらないか

…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。

その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご 氏 名	
お電話番号	
F A X 番号	

月曜日-金曜日(祝日を除く)
AM9:00~PM5:00
アール・エフ・ヤマカワ株式会社
お客様相談室

☎0120-204-208
FAX 059-256-5333

申 込 番 号	
品 名	リスム フリーアドレス用テーブル
商 品 番 号	
お 買 上 日	年 月 日
お 買 上 サイト 名	